

與黨としては一致團結して飽くまでこれを支持し援助する事を諸君と誓ひ度いと述べ、次いで**依商相**は前幹事長として挨拶を述べ、黨員結束して政府を援助されんことを希望する旨を述べ、小川大藏政務次官より政府緊縮方針、金解禁準備に關する諸施設並にこれに伴ふ本年度實行豫算及び來年度豫算編成方針につき説明をなし、永井外務次官より東支鐵道問題に關して露支關係重大化に就き最近の情況報告あり、終つて種々意見の交換をなして同二時半散會せり

四 有志代議士會及聯合會

有志代議士會の申合 民政黨は七月十五日午後三時より本部に於て有志代議士會を開き、田中隆三氏以下約三十五名出席し、時局問題に關し種々懇談したる結果

一金解禁を目標として財政經濟の整理緊縮を徹底的に斷行することは財界の現状に鑑み極めて當然なことであるが然し之れに就いては動もすれば誤解を招き易く、國民一般が恐怖心に捉はれる虞があるから、政府は凡らゆる方法を講じて國民に對し其の趣旨を徹底せしめるに努めねばならぬ

一 民政黨が從來高唱したる議會中心主義の立前から新政策の實行に當り、先づ以つて速かに臨時議會を召集して直ちに議會を解散し、内閣の信任を國民に問ふべきである

一 義務教育費國庫負擔額の増加總額を約一億圓程度に繰上げるは我が黨が多年在野時代に於て國民に公約したる政策であるから、政府は多少の犠牲を拂ふても明年度豫算に(二千五百萬圓位の増加)計上して其の實現を期するべきである

右三事項を申合せ其の實現を促進する爲め實行委員として西英太郎末松借一郎、作田高太郎の三氏を挙げ午後五時散會せり

斯くて民政黨の西末松作田の三代議士は有志代議士會の申合せを齎して十五日午後六時永田町首相官邸に濱口首相を訪問し、鈴木書記官長立會の上、有志代議士會の經過並に申合せを詳細に説明報告して首相の考慮を求めたるが之れに對し首相は有志代議士の意のある所を諒とする旨を答へ懇談三十分にして辭去せり

民政黨聯合會 民政黨の總務補充に關する貴衆兩院議員並びに評議員の聯合會は七月十六日午後二時より本部に於て開會

濱口總裁以下黨出身各閣僚政務官貴衆兩院議員評議員等約二百五十名出席

先づ富田幹事長 より開會の挨拶に次いで

今回成立した民政黨内閣は、前政友會内閣稅政の後を承け内治外交共に極端に行詰つた難局を打開する極めて重大なる使命を以つて生れ、我々黨員は從來に増し一層鞏固なる結束の下に現内閣を支持聲援して此の大使命を果し、國難を打開せしめねばならぬ

と所感を述べ、添田敬一郎氏を座長に推し井上準之助三好榮次郎兩氏入黨の紹介あり、井上氏よりも簡單なる入黨挨拶を述べ、次いで總務會計監督顧問等補助選舉に移り手續を省略して濱口總裁より前項の如く指名したる後

濱口總裁 は組閣以來の經過を左の如く述べ對策の覺悟を披瀝せる演説を試みたり

濱口總裁の演説

十六日の民政黨の議員評議員聯合會に於ける濱口總裁の演説は左の如し

諸君不肖去る二日内閣組織の天命を拜し、即時閣員の銓衡を了へ、午後九時親任式を舉げられ、茲に我が民政黨内閣は日を移さず即夜成立を見たのであります、超へて九日内閣は施政方針に關する聲明書を決定し、政府の將に實行せんとする政綱政策中特に緊急を要するもの十項を掲げて之を天下に公表しました

この十大項目は時弊を匡救し、現下の難局を打開する爲極めて重要な政策であります、特に其の内第六項に掲げたる整理緊縮の事は財界を根本より立直す爲に一日を緩ふす可からざる喫緊事であるに拘らず、世間動もすれば之を誤解し、濫りに恐怖心に囚はれ、前途を危惧する者のあることは私の最も遺憾とする所であります

戰時好況時代に馴致せられたる輕佻浮華の弊風は既に其の後十有餘年を経過し、其の間經濟的反動期の襲來及空前の大震災災等幾多の難局に遭遇しながら、少しも減退する模様なく近時却て甚だしき加へ、國家財政も國民經濟も漸次破滅に近き道程を辿りつゝ、あつた事は識者夙に之を認めて日夜憂慮しつゝ、あつた所であり、此の弊習を矯めず、其の儘に放任して財界の匡救を圖ることは恰も木に據つて魚を求むるの類であります、併し整理緊縮と云ふ聲は、一時世の不景氣を招來することがないとも云へません、之が爲或る方面には假令一時的にもせよ、多少影響を受くる所があるかも知れませんが、左りな

がら整理緊縮の前途には確に光明が輝いて居ります、現下の一次的苦痛は所謂生々の悩みに過ぎないのであります、此の悩みを體檢することに依りて、我國は始めて光輝燦然たる目的地に到達することが出来るのであります、將來に於て伸びんが爲現在に於て縮むのであります

從來の如く無方針にて財界に臨み國債を整理することも、又金輸出の解禁を爲すことも、之を斷行する楷梯に一步を踏み入れることが出来るのであります、茲に至つて本邦財界の立直しは始めて其の合理的基礎を確立し得るのであります、然るに世間動もすれば、此の真相を理解せず、濫に財界の前途に恐怖心を抱く者なきにあらず、是れ全く謂れなき誤解に基くものでありまして、國民相互に深く警めなければならぬことであります

本日茲に我黨の大會に代るべき議員評議員聯合會を開催するに當つて來會の諸君に對し、政府の決意の存する所を述べ、る機會を得た事は洵に欣幸とする所であり、又諸君に於かれても能く政府の意ある所を體せられ、舉黨一致政府を助けて所期の目的を達成せしむ様、一層御盡力あらん事を切望する次第であります、其他の項目に就ては他日説明する機會がありませう、本日は之を略します、終りに臨んで、我黨三百萬の黨員諸君が昭和二年四月の政變以來在野黨として約二年有餘に亘り困難と戦ひ壓迫と争ひ、隱忍自重して能く黨勢を維持し、以て今日に至れる事は、私立憲民政黨總裁として衷心より深く感謝する所であります

五 調査會委員の顔觸

近く設置される國際貸借改善關稅社會政策三調査會の委員に就ては、與黨首腦部の希望もあり、大體十五名位となし、貴族院議員、學者實際の經驗者關係各省大臣、次官、局長等より夫々三名位をとり、與黨より三名宛委員を擧げることとなり居り、大體左記の諸氏が最も有力なる候補者とされ居れり

- 一 社會政策 添田敬一郎、末松偕一郎、高木益太郎、又は増田義一
- 一 關稅 武内作平、柵瀬軍之佐、櫻内幸雄
- 一 國際貸借改善 岡崎久次郎、田昌、前田房之助、増田義一

六 政務調査總會

組閣後最初の民政黨政務調査會總會は七月十八日午後二時半より本部に於て開會

濱口首相初め、安達、井上、町田、小橋、松田等の各閣僚、其他出席

先づ小山會長より調査會今後の調査方針に關し、國民生活の安定を第一義とする政策を政府と協力して遂行する旨を述べ、て新任の挨拶をなしたる後

- 一 一部屬を定むる件
 - 一 新に政調會の機能を發揮する爲め調査會規定の件
 - 一 總會定例日を木曜日午後二時とすること
 - 一 會長、理事、各委員長及委員の移動
- 等を報告し、終りて濱口首相より一場の挨拶あり、これに對し土屋清氏より保健衛生に關する事項、小山(谷)氏より井上藏相の財政政策に關する説明を求め、前者に對しては町田農相より社會政策の審議に際して考慮せらるべき旨を答へ、後者の質問に對しては七月十九日午後二時より本部に政調總會を續開し、財政政策に關する井上藏相の詳細なる説明を聴取することゝして同四時散會せり

七 政務調査總會と井上藏相の演說

民政黨にては七月十九日午後二時半より本部に於て政務調査總會を開き

小山會長外、黨幹部その他百三十餘名出席

前日の質問に對する説明として井上藏相より別項要旨の説明演說あり、次いで小山谷藏、川崎克、戸澤民十郎氏等の質問に對して井上藏相より左の如き應答あり

一 政府の聲明は當面の問題にのみつき、差當りこれを表明したのであつて、義務教育費その他の問題は今後篤と意見の交換をなしたる上決定したいと思ふ、試に昭和五年度概計を説明申上げますれば如何にも財源は窮迫してゐる、地方財政の緊縮に關する方針中、地方債に關しては大體に於いて新規事業はこれを認めざることに既に發表せる如くであるが、中央と

地方と相俟つて政府聲明の實現を期したい、何れ將來の方針に就いては近く招集の地方長官會議に於て示したい
斯くて午後五時半散會せり

井上藏相の演説

消費の節約 大正九年度の反動、大正十二年の大震災等により、國家も國民も非常なる打撃を受け、現に政府の歳入も昭和四年度には十七億餘となり、而も此の内には九千百萬圓の公債收入を含んで居ると云ふ有様であります。然るに政府の歳計も國民一般の生活も此の收入の減少に伴ふて緊縮することが出来ず、収入は非常に減少したが、支出の節約之に伴はな
いで國家も國民も毎年毎年収入不足で、借金で喰延べてやつて居ると云ふ有様であります。我國經濟社會の不健全なる諸現象は盡く之に其の原因を發して居ります。國民思想の頹廢も亦茲に原因を發して居ります。故に今日我國經濟界の根本的建
直は一に此の不健全なる状態を救ふにあると思ひます。即ち徹底的の財政緊縮と一般國民の消費節約とにありと考へます
金解禁問題 今日我國に於て金解禁の急務なることは今更申すまでもありません。此の目的を達し、するには政府
は其の財政を緊縮し、一般國民も亦其の消費を節約して行くの外はないのであります。此の緊縮節約に因りて爲替相場も騰
貴して参り何時解禁をやつても差支ないことになると思ひます。世の中には金解禁を非常に恐れまして金解禁をすれば今
にも一大恐慌が来る様に考へるものもありません。けれども之は何等準備することなくして不用意の下に卒然と解禁する様
なことがあれば、財界に急劇なる變動が参りますけれども、若し相當なる準備を整へて解禁をすれば決して何等の變動は起
らぬ筈であります。米國の解禁のときも英國の解禁のときも何等變動は現に起らなかつた

公債整理 我國の國債總額は今や五十八億圓に達し、其の利拂丈でも三億圓に近いのであります。而して前内閣の計畫
によりますれば本年度以降毎年二億圓以上の新公債を發行することゝなつて居りますから、此の五十八億は直に六十億と
なり七十億八十億となるは瞬く暇もありません。依て政府は昭和四年度實行豫算の編成に當りまして、公債支辨の事業は一
切中止又は繰延を行ひまして極力公債の減少を計り、五年度豫算の編成に當りまして、一般會計に於ては一厘の公債も發
行せず、特別會計に於きましては、從來の發行豫定の半額以下五千五百萬圓とすることに致します。其の結果國債償還基金繰
入額が約七千萬圓、獨逸賠償金の繰入が六百三十萬圓、この外剩餘金四分の一繰入が約千萬圓でありますから、合計八千六百
萬圓となり、差引三千百萬圓、毎年國債額の減少となることゝなる計畫であります

八 民政黨幹事會、總務會、總談會

幹事會 民政黨は七月二十三日午後二時半、本部に幹部會を開き、總務その他本部役員、政務官等出席左の件を協議決定
して午後四時半散會せり

- 一 閣僚と黨幹部の連絡を計る爲め、毎月一回閣僚と幹部の懇談會を開くこと、第一回は濱口首相歸京後成るべく速に開くこ
と
 - 一 現内閣は少數黨を以つて内閣を組織して居るのであるから、議會に多數を得るまでは内閣の基礎は確立しない、従つて大
の議會は解散は避け難き情勢であるから、選舉第一主義を以つて進む事、これが對策の爲め、全國遊設計畫も多少修正を加
へる必要があるから、二十七日に各部長會議を開いて協議すること
 - 一 整理緊縮金解禁を大衆に徹底せしむる爲め、全國遊説をなすとともに、政友會内閣の失政整理緊縮の徹底金解禁の三項に
つき大衆に徹底せしむる爲め、數種のパンフレットを發行すること
 - 一 閣僚、政務官總務を地方別に分擔して黨情視察の爲め派遣し、選舉對策を確立すること
 - 一 政友會は不景氣政策の強調、失業者煽動によつて、現内閣を倒さんとして居ると傳へられて居る、故に民政黨は政策上は勿
論黨略上からも閣僚、幹部、懇談會席上、失業者救済策に關して協議すること
- 總務會** 民政黨にては二十七日午後二時半より本部で部長會議を開き

藤澤筆頭總務、富田幹事長、田中黨務、木村遊説、一宮情報の各部長出席
來るべき總選舉に對する準備として、全國的遊設計畫の實行につき種々協議せし結果、先づその前提として地方の黨情視察
の爲め、黨の顧問及び總務を北陸、東海、近畿、中國、九州、四國の六區に分遣し、その結果によりて吾黨内閣の政策の宣傳並びに黨
勢擴張の爲め遊説を行ふことに決定し、近く三十日の總務會に附議決定して直に實行に着手することゝなれり、續いて
民政黨の總務會は三十日午後二時半より本部に於て開會、顧問、總務幹事長、各部長、多數出席種々協議の結果
次期總選舉に備へる爲め、政策の徹底、地盤の開拓、適當なる候補者の選定等について遺漏なきを期する爲め、全國を七區に
分ち

東北 田中黨務部長

北陸 戸井總務

三重岐阜滋賀京都 櫻井總務

奈良和歌山大阪兵庫 木村遊説部長

岡山廣島山口 森田總務

香川徳島愛媛 西村總務

鹿児島福岡沖繩 牧山總務

の諸氏を二三日中に派遣して黨情を實地に視察せしめ、北海道は八月大會を開いて全道に遊説する時に譲り關東一帯は本部に於て隨時調査打ち合せをなす事に決定せり尙ほ政策の宣傳方法としては

一、情報部に於て大藏、文部、内務と連繫を保つてラジオ放送をなすこと

二、活動寫眞俗語小唄の蓄音器等にもよること

三、通俗講演

四、數種のパンプレット配布

等に依ることと決定し四時半散會せり

政調總會 民政會は八月一日午後二時より本部に於て政務調査總會を開き、小山會長外五十餘名出席先づ小川大藏政務次官より本年度實行豫算に關する概要を説明し、次いで高田農林政務次官より農林省本年度實行豫算を説明して農村政策に關する政府の方針を述べ、引續き永井外務政務次官より露支問題の経過及び現状につき説明をなし、終つて小山會長より去月三十一日財部海相を訪問して軍縮問題に關する意見を聴取したるが要するに目下英米兩國間に於て審議を進めぬる軍縮問題は政府としてもその趣旨に於ては固より賛成なるのみならず更に進んでこれを促進したき希望なる旨を述べたと報告し、その結果、右軍縮問題に關し更に次回の政務調査會にて海軍當局の出席を求めて、政府の意向を詳細に聴取する事に決し同五時半散會せり

幹部關係第一回聯合懇談會 民政黨は與黨幹部と黨出身閣僚との第一回聯合懇談會を八月二日午後六時より首相官邸に開く政府側よりは

濱口首相外各閣僚、鈴木内閣書記官長、與黨側よりは藤澤總務外各總務、若槻顧問外各顧問、富田幹事長及び各部長等出席先づ濱口首相の挨拶の後、本年度實行豫算の成立、三大審議會の設置等金解禁斷行を前提とせる政府の縮緊方針に伴ふ財界の近況等組織以來の重要諸問題の経過につき政府側より大體の報告説明をなし、更に來年度豫算の編成と民政黨年來の主張たる所謂政策實現の關係、山梨朝鮮總督の進退を始め、各種民地長官更迭問題、緊縮方針の街頭宣傳方法及び政府與黨今後の結束統制等につき種々忌憚なき意見の交換を遂げたり

幹部會 民政黨の幹部會は八月六日午後二時より本部に開會、地方長官會議に於ける濱口首相並びに井上藏相の財政演説に對する政友會の三土前藏相の批評につき意見を交換したるが、三土氏の批評は徒らに民心を煽動し微妙なる財界を益々不安に陥れ、これに依つて何事かを策するの不慎極まるものとして、小川大藏政務次官、田昌氏等より夫々之が反駁の意見續出したるが結局左の如く意見の一致を見たり

一、三土氏は消費と生産とは不可分のものとなし、この見地から現内閣が國際貸借改善の爲めに消費節約を宣傳すること、を無意義なりとしてゐるが、これは非常に誤れる見解である。若し我國の經濟が國內のみに局限されるものならば生産と消費とは不可分かも知れぬが、今日の如く對外貿易が盛んに行はれ經濟が對外的に發展してゐる時代に於いては、國內の消費節約は却つて生産を對外的に發展せしめる基礎となるものである。現に綿絲の如きは國內の消費節約と共に益々輸出が増加してゐる。

二、三土氏は經濟と財政は不可分であり、日本の經濟が充實してゐるから、財政を節約する必要なしとして緊縮政策に批難を加へてゐるが、これは空疎な積極政策に因はれた暴論である。若し國家の經濟が膨脹したからとて財政が膨脹してよいものならば、米國の財政の如きは今日の數倍にまで増加してよい譯である。國力を充實せしめる爲めには、先づ最大の消費者たる國家が節約の範を示し、緊縮の實を擧ぐべきである。

三、三土氏は公債價格の維持は地方農村に不利益を與へ、一部の資本家を利するものであるといふが、公債價格の維持は國家の對外信用を維持する上に於て最も重要なものであるのみならず、一方に於いて國內の經濟状態を安定せしむるに必要なるものである。若し公債價格延いて一般證券の價格が下落するならば、一般國民は有産無産を問はず、大打撃を受けるであらう。

九 選舉準備と黨情視察遊説

來議會の解散は既定の方針として民政黨は現在着々選舉準備を進め居れるが、少くとも一舉七十名の増加を計り衆議院の過半数を制する方針なり、これが爲めには今より各地に於ける候補者の選定に最も意を用ひ、嚴選主義によりてその大部分の當選を期し、現在議員を出さざる十五選舉區の地盤開拓に努め、その他各區全般に亘りて増加を計る筈なるが、民政黨にては各地に亘たる詳細なる調査の結果、最も有利なる條件に於いては八十名以上増加の自信ありと稱し居り、然し現在政友會二百四十数名の多数に對し、民政黨は僅百七十二名なれば、如何に政友會が不人氣とは云へ、一舉にその地位を顛倒するに餘程の努力必要にて、これが爲めには政府と與黨との間に緊縮なる連絡を保ち、今より聯合調査を進める事必要なりとの意見黨内に有力となりつゝあり、この選舉準備に就いては八月二日の黨幹部と閣僚との懇談會に於いても特に問題となり、黨出身閣僚は第一線に立ちて遊説に努める事に決し、同日黨に於いて協議せし結果、八月中は全國選舉區の黨情視察を遂げ、九月より閣僚及び黨幹部を陣頭に立て、大遊説を開始する方針に決せり、従つて先に黨務視察員として決定せし森田、西村、牧山、戸井、櫻井各總務、田中黨務部長、木村遊説部長等の先發隊は八月四日夜東京發、夫々選舉區の視察に就く筈なるが、その報告が纏れば月末には方策が更に具體化するなるべく、尙ほ政新合同により政友會に入黨する筈なりし小野寅吉、高島順作、鶴岡和文諸氏はこの際民政黨に復黨の希望あり、夫々黨幹部にその旨を申込み居れるが、民政黨にては來るべき總選舉に於ける地盤の關係もあり、選舉對策の具體化するまでその決定を差控へ居れり。

一〇 農村誤解一掃の選舉對策

民政黨は次の議會を解散し我が黨内閣の下に總選舉を行ふ既定方針により特に安達謙藏氏を内相に据ゑて選舉に十分の手腕を揮はしむる陣形を整へ、政府與黨の協力により絕對過半数を制せんとし、日々着々その準備を進め居れり、即ち先きに黨務視察員として決定せし森田、西村等の各總務、田中、木村等の各部長の内の數氏は安達内相、富田幹事長と打合せの上、既に地方に出發して黨情の實地調査を進め居るが、櫻井總務は十日歸京し、三重に於いては一名乃至二名、岐阜三名乃至四名、滋賀一名、京都三名の増加は略確實なることを報告し、その情勢より推して選舉結果の頗る好望なることを述べ居り、残り諸氏も八月中には全部擔當區域の調査を完了する筈にて、九月秋冷の候に入ると同時に閣僚黨幹部政務官を先頭に全國的大

遊説に移る手筈なり、この遊説に於いては現内閣の緊縮政策の意義徹底に重心を置く方針にて、特に農村に對しては緊縮の意義を十分に説明し、緊縮政策は伸びんが爲めに、先づ整理の徹底を計るものにして、農村振興と何等矛盾するものにあらずることを力説し、農村の誤解一掃に努むる筈なり、又候補者選定は飽くまで嚴選主義を固守し、成るべく三百名以内に限定することとし、八、九割の當選を期する方針なり、即ち今まで黨に於いて調査せし所によれば、兵庫、愛知等の如きは一縣の増加のみにて四名を下らぬ確信ありとし、最良の條件に於いては鹿兒島を除いて八十一名の増加可能なりと誇稱し居れるも、少くとも現在よりは七十名、内外の増加を期し、二百四十乃至五十を目標として現在の政友會とその位置を顛倒せんことを期して居れり、而して現在議員を出だし居らざる選舉區は

- △北海道第三區△青森第二區△秋田第二區△岩手第一區△東京第七區△岐阜第二區△岐阜第三區△兵庫第三區△千葉第一區△岡山第一區△香川第二區△愛媛第一區△愛媛第二區△鹿兒島第二區△鹿兒島第三區
- の十五區定員五十名にして、その内鹿兒島は計算外に於いても各區夫々一名を獲得し得る見込があり、北海道第三區及び岐阜第三區の如きは作戦によりては二名を得る可能性ありとの見込を立て、山形、富山、高知、神奈川、栃木、和歌山、島根等の諸縣に於いて現状維持に努むる外、各府縣何れも最高四名、最低一名の増加を見ること確實なりとし、夫々作戦を進め居れり

一一 營業收益稅改正の進言

民政黨は政府の來年度豫算編成に就いては、來議會の解散を前提として相當與黨としての注文を容れて貰ひ度しとし、曩に屢々黨幹部は政府首脳部に折衝する所ありたるが大體與黨側としては金解禁本位の緊縮政策は固より當然なる事にて大體に於いて新規事業はこれが要求を差控ゆるも、從來黨の掲げし重要政策中

- 一 義務教育費國庫負擔増額
 - 一 營業收益稅の改正減稅
 - 一 消費稅中特に絹綿交織物及び砂糖稅の廢減
 - 一 自轉車稅、家用荷車稅の廢減はこの場合如何なる差繰をしても實現させたいとの意向を以つてゐる
- 然るに政府は右の内先づ自轉車稅、荷車稅の減稅に手をつける模様にて、黨としては義務教育費増額を第一として廢減稅に於いては寧ろ多年の公約たる營業收益稅の改正を實現したき希望なり、而して政府は義務教育費増額問題に就いては相當

考慮し居る事は事實なるも、何處まで誠意を以つてその實現を計るかは疑問視せられ、又營業收益税改正も今の所見込みなき情勢なりとし、與黨にては飽くまで政府に向つてその實現を計らざるべからずとし、近く九日の黨出身閣僚と與黨幹部との懇談會席上にてこれを主張する意向なりと

一一 幹部懇談會及總務會

閣僚幹部懇談會 黨出身閣僚と與黨幹部の聯合懇談會は八月九日午後六時首相官邸に開會、政府側よりは濱口首相、外務、安達内務、井上大藏、町田農林、小泉逵信、江木鐵道の各黨出身閣僚、小橋文部、俵商工、松田拓務、三相缺席、及び鈴木内閣書記官、長、川崎法制局長官、又與黨側よりは藤澤筆頭總務並に菅原、大津兩顧問を始め、各總務、富田幹事長以下各幹事、小山政調會長、田中黨務一宮情報、木楡遊說各部長等幹部出席

- 一、九月十一日の實行豫算説明會の對策
- 一、政府與黨の緊縮方針並に金解禁の趣旨徹底方法
- 一、各地方支部大會開催に伴ふ首相以下各大臣遊說時期並に地域の割當
- 一、來年度豫算編成方針と義務教育費、國庫負擔増額其他重要政策實施との關係
- 一、朝鮮政務總監並に特殊銀行會社首腦部更迭問題
- 一、最近の外交諸問題

等當面の一般政情を中心として來議會の解散不可避的、今後の政局對策及政府與黨の結束統制に關し種々忌憚なき意見の交換を遂げる所あり

遊說決定の總務會

民政黨は八月十日午後三時本部にて總務會を開き、濱口首相を始め閣僚その他各幹部出席、遊說計畫につき種々協議した結果左の如く決定せり

- 一、十月十三日名古屋に於ける東海十一州大會に濱口首相出席
- 一、同十五日頃の富山市に於ける北陸大會も同様濱口首相出席
- 一、九月下旬に開く新潟縣支部大會には井上藏相出席、尙十月六日の徳島支部大會には閣僚、政務官出席
- 一、來る十七日より遊說に出かける安達内相の日程は十七日静岡、十九日滋賀、二十日奈良、二十二日尼ヶ崎地方とする事

次いで添田敬一郎氏より福井縣その他、森田茂氏より岡山、廣島、山口の三縣下の黨情を報告し、小山中村、西村の諸氏より農村問題に就き意見交換の結果

政友會では種々の逆宣傳をして居るが、生糸の價格は現内閣成立當初に比較して漸次騰貴して來た、春蠶は一圓高、秋蠶は二圓高を示して居る、この結果からしても政府の緊縮政策は農村經濟に何等の不利益を齎らさず、又米價は天候その他の關係で騰落するもので、今日の安直段は全く政友内閣の米價調節策を誤つた結果である、と云ふ事に一致し、それより高木益太郎氏より目下問題となり居れる諸疑獄事件に關し渡邊法相と會見して司法當局の徹底的な強硬態度を希望した旨を述べ、同四時半散會せり

一三 地方官第二次更迭の進言

現内閣成立當初に行はれし地方官の大異動に對しては與黨側にては未だ不充分なりとして不滿を唱へるもの多く、殊に地方支部よりは

政府は支部の意嚮を尊重せず、休職にすべからざるものを休職となし、左遷すべからざるものを左遷し、乍ら前回の總選舉に於て政友會の爲めに地方官として有るまじき態度に出でしものをもその儘とし、或ひは他へ轉任せしめたに止るものが多く、政党内閣は強力な與黨の上に立ちて初めて政策を充分に遂行し得るものなり、政府は總選舉と云ふことを常に念頭に於かねければならぬ、政府は政党内閣の本領を履き違へてゐる

との苦情を或は文書を以つて或は態々代表者を上京せしめ引切なく持ち込み來たるより本部にても屢々政府當局の考慮を促し來たり居るが、尙今回地方黨情視察に派遣されし櫻井總務等は詳細に支部の事情を調査せし結果、地方長官の更迭問題について正式に安達内相に單に補充的の入替へに止らず、總選舉に先んじて思ひ切つたる第二次大更迭を斷行し、政友色地方官を一掃して現内閣の威力を發揮し、選舉の公正を期して貰ひたしと進言せり、右に對し政府側にては前内閣が總選舉前になしたるが如き露骨なる黨略的異動は避くべきであるとし、餘り耳を藉ざりしが、與黨並びに支部の要求切なるに動かされ監督を一層嚴重にし、各方面の事情も充分に調査せし上止むを得ざる者に對しては適當の機會に更迭を斷行して地方行政の刷新を圖り、且與黨並びに支部の希望に添ふ處置に出づる事となる模様なり

一四 總務會、政務調査會

綱紀紊亂調査の總務會

民政黨は八月二十日午後二時より本部にて定例總務會を開き、大津菅原兩顧問、藤澤外各總務及部長等出席し、先づ富田幹事長より

- 一、樺太支廳設置につき同島民有志から要求があつたが、時期尙早と認めてその手續を採つた事
 - 一、石塚臺灣總督、太田關東長官が任官の日、黨籍離脱の爲め脱黨届を出されたにつき受付けたこと
- の報告をなし、次で先般來政情及黨情視察に出掛け歸京せし戸井櫻井、森田、西村、紫安の各總務及田中黨務部長より夫々視察の報告あり、又富田幹事長より前内閣が残せし綱紀紊亂問題につき各方面より種々の情報を聴くより之についても諸君の忌憚なき意見を承り度い旨の提議を爲し森田總務より

- 一、各地方に不正競馬の行はれて居ること
- 一、和歌山遊廓移轉問題につき、前警視總監宮田光雄氏、前首相秘書官井口延次郎氏にまつはる七萬八千圓問題は早くも不起訴説が傳つてゐるが、之は曖昧に葬らず徹底的取調べを爲す必要あり、而も明かに首相官邸の金庫に收められ返還する際には殖口秘書官の捺印があると言ふから田中前首相も關係あつたものと思ふ

宮崎情報部長より

- 一、特殊會社銀行の政黨化矯正は我黨の屢々唱へて來た所で有る、然るに日本勸業銀行の如きは馬場總裁を始め理事、係長等政友會關係者が非常に多い、又滿鐵の新に經營せんとする昭和製鋼所の敷地の周圍は吉植庄一郎氏の實弟吉植庄藏氏が既に買收済みで、而も朝鮮銀行が右買收資金の二倍を貸出してゐる
- 一、朝鮮銀行總裁鈴木島吉氏は久原房之助氏と懇意なるが故に日本製糖會社に不當貸付けを爲して居る
- 一、其他木槍三四郎、原夫次郎氏等より陳述ありたるが、結局森田茂、高木益太郎、西村丹次郎氏が司法關係の綱紀肅正問題につき渡邊法相を小山松壽、紫安新九郎、一宮房次郎の三氏は特殊銀行會社の肅正につき井上藏相を又櫻井兵五郎、木槍三四郎、原夫次郎の三氏は地方行政問題に關する綱紀肅正問題につき安達内相を、夫々一兩日中に訪問して總務會の意向を述べ、その徹底的取調べを要求することに決定し同六時過ぎ散會せり

遊説計画決定の總務會

民政黨にては八月二十七日午後二時半より本部に幹部會開會菅原通敬氏は金解禁及整理緊縮の爲めにも減税は必要であると述べ、種々意見を交換せし結果政府も相當考慮しゐる事なれば與黨としては政府を

鞭撻し、國民の負擔軽減か減税かを實現せしむる様努力することに意見一致引續き綱紀問題に就いて

- 一、私鐵買収に關する疑獄事件は既に天下の問題となり疑惑を惹起してゐる事でもあるから徹底的に真相を糾明して綱紀の振肅に努むる様政府を督勵すること
- 一、山梨前朝鮮總督は釜山瓦斯會社を七百四十餘萬圓にて起債の方法に依り釜山府營として買上を許可することに内定して居た様であるが、釜山居留民大會の反對陳情もあり、内部に種々の取沙汰もあるから、拓務省に注意を促すと共に政務調査部會に移して徹底的に調査すること

右終りて左記事項を決定し四時半散會せり、尙ほ選舉對策の遊説計畫に就いては

- 一、地方黨情視察は九州を除く各地大部分の調査を完了したので、九月に入つて各地に大遊説を開始すること
- 一、遊説には閣僚、政務官が成るべく出席する様富田幹事長、藤澤總務が黨を代表して濱口首相に進言すること
- 一、遊説網による大遊説に先ち左記の如く各地に支部大會を開くこと

△八月廿八日 福井支部大會(小泉遞相出席)

△九月一日 佐渡支部發會式(紫安總務)

△九月十五日 北海道支部大會(江木鐵相)

消費稅減廢題目の政務調査會

總選舉を前にして民政黨にて最も苦心しゐるは國民に對する選舉題目なり、現内閣の政策主張を忠實に支持すること、すれば多年の公約なる義務教育費、國庫負擔増額の如きと矛盾する結果となるより、黨首腦部にては濱口首相及井上藏相等と折衝を遂げ適當の對策考慮中であり、緊縮一點張りの井上藏相の如きも漸次義務教育費の問題に就き與黨の希望を相當に容れんとする模様にて、尙此の外に政府の金解禁の爲めの整理緊縮も反對黨の宣傳によりて地方には惡き響きを傳へ居るより、此の點を與黨にては非常に憂ひ目下頻りに對策を考究中なり、政務調査會に於ても政府の整理緊縮は財界を立て直し、國民が經濟的躍進を試みる前提なることを力説すると共に他に如實に首肯せしむるが如き具體案を作成して一般國民に提示する必要ありとし、一般勤勞階級への負擔軽減を目標として國稅の整理を併行して地方稅制の大整理を考究中なり、即ち

- 一、勤勞階級の負擔となつてゐる消費稅の減税又は廢止

二、一般國民の生活必需品に對する消費税の減税又は廢止の兩方面より數字的に目下小山政務調査會長の手許にて調査し、近く具體的に原案を得れば九月十一日の豫算説明會の終了を待ちて政務調査會に附議し、正式に決定して選舉の題目とする方針なりと

與黨幹部の教育費増額熱望 民政黨にては本年度より義務教育費を増額して地方負擔の輕減を圖ると共に、更に減税をも實行すべきなりとの議論起り、總務會にて協議の上藤澤總務富田幹事長よりこれ等の點に就いても濱口首相に進言する所ありたるが、右は大體地租の輕減はこの際義務教育費増額との關係上差し控へるとするも營業收益税に就いては從來の主張に基き、免稅點八百圓を千二百圓位まで引上ぐべきなり、尙ほ特に地方税に於いて自轉車税、家用荷車税の廢減を消費税に於いて織物消費税、砂糖消費税等の改廢を實行すべしと云ふにある如く、これ等減税の結果は直接歳入減を來す事となる關係上、與黨側にも政府當局の苦衷を察し、第一着手としては減税よりも義務教育費の増額要求に重きを置き居れり

總務會と遊說計畫 民政黨は九月三日午後二時半より本部にて總務會を開き、富田幹事長より遊說計畫及び各地支部大會の申込につき報告の上、今後は大臣政務官も出来るだけ地方遊說に出席する事となれりと述べ、左の諸項を決定して三時半散會せり

一、十月初旬名古屋市に東海大會を開く事

一、來る九日首相官邸にて黨出身閣僚と與黨幹部との懇談會を開き、黨勢擴張その他につき忌憚なき意見の交換をする事

一、來る十五日の定例黨午餐會は當日日曜日なるにつき十六日に變更する事

總務會 民政黨は九月十三日午後二時より總務會を開き、富田幹事長より

一、整理緊縮方針の徹底については政府側に於いても、與黨側に於いても準備を進めて居るが、來る十五日より四日間適當の日を決定して濱口首相がラヂオの中繼放送により政府の緊縮方針を全國に放送するに決したこと

一、全國各選舉區に於ける黨情視察に付ては目下各總務部長が擔當地方に出張して調査中である、依つて近くその報告を纏て遊說部黨務部の聯合協議を開き、對策を決定する筈であること

一、來る二十日過ぎ札幌市に於いて北海道大會を開き、江木鐵相外數氏を特派する筈であるが、その終了後五班に分れ全道を

遊說すること

一、來る二十五日九州に於いて宮崎支部大會を開き、高田農林次官外一名を特派し、二十八日福井市に於いて福井支部大會を開き、小泉遞相外數名を派遣し、大會後引續き一週間縣下を遊說する事

を報告し、次で黨勢擴張につき意見を交換し、尙ほ午後三時半より政務調査會を開き、左近司軍務局長を招き、軍縮問題の經過並に現に英、米兩國間に於いて商議中の交渉内容につき左の要旨の説明を開き、二三質問の後五時半散會せり

左近司局長の軍縮説明

軍備制限に關する帝國の眞率なる態度は既に屢々表明せられたる所であるが、帝國海軍としてはその趣旨に基き、且列國の特殊事情をも參酌し、軍縮本來の目的に叶ひ得る適當なる對策を樹つることに腐心し、既に大體の準備も整ひ、何時にても會議に應じ得るの運びに達して居る

補助艦の制限は從來累次の難關に達着し、その解決容易ならざる事態にあるのであるが、各國が他國の特殊國情に對し同情を以つて考慮し、相互に國家の安全を尊重し、交讓妥協の誠意を以つてこれに當るならば必ず圓滿なる解決を見るであらう、これが爲めには政治的解決を必要とする場合少からずと察せらるが、如何なる場合に於いても國防の安全を離れて軍縮を議することは危険なことである

目下米大統領フーヴァ氏、英首相マクドナルド氏との間に於いて久しくこう着して居つた本問題に關して商議が行はれて居る

補助艦の制限のみならず、主力艦の艦形縮小、艦齡延長、又は代艦延期等も當然次回軍縮會議に於ける問題となるであらうが、我海軍としても軍縮本來の目的達成上、列國と協調してこの點につき考慮するの用意がある、尙主力艦制限後補助艦競争が起つた如く、補助艦制限成立の曉は更に商船航空機等の競争が起らぬとも限らぬ、これ等のものは通商交通上必要なる機關として制限甚だ困難であるが、軍縮の徹底を期する爲めにはこれ等に對しても、戰時利用に關し適當なる制限が望ましかことである

最大海軍國たる兩國の非常なる意氣込みと誠意の披瀝とは軍縮の前途に大なる光明を與へ、日、佛、伊等もこれに和し、夫々誠意を以つて兩國と聯絡を採つて居るのであるから、本問題の解決も近きにありと認めらるゝが、何よりも先づ必要なる

ことは英米兩國「パリチ」の問題を如何に取扱ふべきかを決することであつて、これが爲め米國は英國の特殊國情に基く必要な艦艇について特別の考慮を惜まざるの態度に出づる必要を感ずるのであるが、先に米國が提案した「ヤードスチック」の如きはこの目的に利用せんとするものと察せらるゝのである。然しながら合理的の「ヤードスチック」を得ることは到底不可能のことであるから矢張り従來通り排水量を基礎とする比較法により無用の紛議を避くる方然るべしと思はるゝのである。尙ほ英米の「パリチ」には帝國として素より異議の無い所であるが帝國の必要とする補助艦比率に關しては英米「パリチ」問題と同一程度に於いてこれを重要視して居る次第である。

總務會 民政黨は八月十六日午後八時半より首相官邸にて臨時總務會を開き特に町田農相、出席同相より前議會にて通過した糸價安定融通補償法は未だ實施の勅令が發布してない、同法については當時我黨は反對の態度を執つたから、理論的には來議會にてその廢止法案を提出するが至當であるが、然し前内閣に於いても實施後その運用にきを當つては十分考慮する旨聲明して居るし、一方議會を通過し既に公布されたものであるから、現政府としても實施の手續取る事が妥當なる處置とも考へられる、この際黨としての意見を聴きたいと述べ、各總務より種々意見出たるが結局緊急必要以外の運用につき十分の考慮を拂ひ決して濫用せざる事となれば實施の手續きを執るもよしとの意向に一致せり

一五 特殊銀行首腦更迭の要請

民政黨の小山松壽、柴安新九郎、一宮房次郎三氏は先般の總務會の決定に基き特殊銀行會社の政黨化に伴ふ綱紀肅正問題につき八月廿二日正午より大藏大臣官邸に井上藏相を訪問し委員側より勸業銀行の馬場總裁就任以來副總裁は勿論課長級その他に到るまで政黨的大更迭を行ひ、政友會の爲めに殊に便宜を與ふると云ふ噂が専らであるが如何又これが事實ならば藏相としては監督その他の點につき相當考慮を拂はれたいと各特殊銀行首腦部更迭の必要に關して意見及希望を述べ、井上藏相は十分考慮すべき旨を答へて會見を終り、右委員は更に松田拓相を官邸に訪問し委員側より滿鐵の昭和製鋼所設立問題に就いては各方面に色々取汰沙されて居るから設立の採否に就いては、この際十分の調査を遂げた上で決定されたい、又製鋼所設立の敷地と豫想される土地及びその周圍は政友會の吉植庄一郎氏の實弟庄藏氏が

既に買収済みで、朝鮮銀行がその買収資金の二倍を庄藏氏に貸つけて居る、この邊のことも含んで十分の取調べをされたいと依頼し、松田拓相は目下調査中なれば十分の調査を遂げし上適當なる方法を執る旨答ふるところありたり、而して右の如く特殊銀行綱紀肅正問題に關し、民政黨三委員は廿二日井上藏相と會見して、興銀、鮮銀、勸銀、東拓の各銀行會社の情實化、政黨化を理由としてその主腦部更迭の必要を懇せしが、會見後の井上藏相は

三委員は興銀が久原系の事業に情實貸をして居るとか、その他これと同様の事實を二三指摘して話されたが、その内三氏の全然誤解されて居る點もあり、又私が全く今までに聞いた事のない事柄もあつた、これに對しては私は早速調査をして置く旨を答へて置いた

と語るのみにして、右特殊銀行會社の主腦部の更迭に就いては相當考慮し居る模様なり、唯だ問題は、その時機と範圍なるが井上藏相も與黨側の意向を察し居れば所謂政友色と見られゐる人々は早晩更迭するものと思はる

一六 眞の手並は來年度豫算で見よ

民政黨の聲明

民政黨は九月十三日午後六時より本部にて臨時總務會を開き政府の實行豫算説明會に關する政友會の聲明に對し黨として反駁的聲明をなす必要あると云ふ意見に一致し左の要項に基く長文の聲明書を發表せり

聲明書

一、政府の實行豫算編成は憲法第六十四條に準據して居るから勿論其の精神に背馳する事はない、而も大正二年と同十二年及び十三年に歴然たる先例がある

二、政府は豫算成立によりて議會から國費支出の權能を與へられたもので、支出すべき義務を負はされたものではない、然しそれだからと云つて皇室費、義務費を除く他の款項全部の削除を爲すも不可ではないと云ふが如き極端の意見を持つものではない、此の點では説明會席上政友會はこれを諒解したと明言したに拘らずこれを逆宣傳に用ゐて居る

一 濱口内閣は金解禁の主要政策を實現せんが爲めに政友會内閣の放漫政策を改むる必要を生じ、その必要を實現すべく憲法上、合法的に整理節約をなしたもので、その節約程度を決するものは政治的必要の大小輕重である、よつて今回の整理節約は法律的に合法であると共に政治的に妥當である

一 政友會は實行豫算に於いて繰延べのみ多く節約足らずとしてゐるが既に三ヶ月以上實施せられたる豫算の殘餘を捉へて急速に之を緊縮せんとする時は先づ繰延に着手すべきは當然の順序で、又繰延も一種の節約である事も見逃してはならぬ、唯政府の眞の經綸は次年度豫算から實現するものである

一 政友會内閣に於いて實現し得なかつた陸海軍の節約繰延も實行豫算では相當の額に達して居る

一 内務大臣が府縣知事に來年度豫算の緊縮を訓令したが各府縣の財政の現状よりすれば此の訓令を發した事は此の監督權上當然な處置である

一 政友會は金解禁の準備その他に就き種々の非難を加へて居るが、政友會は正面より金解禁其のものに反對出来るか、少くとも現内閣は金解禁の實現に全力を注いでゐる

一 農村振興費中補助の申請なき百二十萬圓は削除したが、振興計畫には何等差支へはない、又米價下落は政友内閣の無謀買上げに起因し、現在は騰貴し爲替は騰つても生糸價は下落して居ない

一 減税に對する現内閣の方針は來年度豫算編成に當つて論じて貰ひたい、現政府は政友會が兩税委讓を反古にしたやうな醜態は斷じてやらない野黨時代の主張は着々その實現につとめる考へである

一七 東海十一州大會

組閣後最初の地方大會

民政黨東海十一州大會は十月十三日午後一時名古屋市中區南崗町南崗座を第一會場中區門前町西別院を第二會場として開催兩會場共立錐の餘地なき盛況本部よりは特に濱口首相も出席定刻井上剛一代議士開會の挨拶を述べ、岡本實太郎氏座長席に着き宣言決議を滿場拍手裡に可決、次いで濱口總裁は滿場割るゝが如き喝采を受けて登壇左記別項の一場の演説を試み終つて萬歳を三唱大會を閉ぢ續いて演説會に入り

小泉櫻井作田中島井上木村小俣小山武富岡本加藤の各代議士の演説あり頗る盛會なりき

決議

- 一 政治の基調を向上し庶政の更張を期す
- 一 綱紀を肅正し國民精神の作興を期す
- 一 税制を整理し國民負擔の均衡を期す
- 一 社會正義に則り其の施設の徹底を期す

時弊匡救の責任我黨の雙肩に懸る

濱口總裁の演説

別項民政黨の東海十一州大會席上に於ける濱口總裁の演説左の如し
本日茲に我黨東海十一州大會に臨み内閣組織以來最初の機會に於て黨員諸君と相會し時局に對する所懐の一端を開陳することは予の最も欣幸とする所であります

帝國の使命 我國は歐洲大戰後急速の變化を告げつゝある世界の情勢に對し國民的一大飛躍を爲して内外の時局に善處すべき必要に迫られて居るのであります我黨内閣が成立以來夙夜盡瘁して須臾も懈らないのは、一に全國民と艱難辛苦を共にして當面の難局を打開し國家將來の大計を樹立せんが爲であります即ち現代人類の間に磅礴たる平和愛好の精神を象徴して我が外交政策の基調と爲し以て世界の進運に貢献しながら洋々たる帝國の前途を開拓することは實に吾人の大なる使命であります

軍備縮小問題 現下世界の耳目を聳動しつゝある軍備縮小の問題に對しては我國の態度は豫め確定して動かざるものがあるのであります即ち日本の海軍力は第一に世界の何れの國に對しても脅威を加へざると共に何れの國からも決して脅威を受けざることが本問題の前提でなければなりません、第二に國際平和の精神に徹底し各國民負擔の輕減を

圖らんが爲單に軍備を制限するに止まらず進んで相對的に軍備縮小の實を擧ぐることを要務とすべきであります之等の主張よりして軍艦の比率は英米より低きを厭ひませぬ併し乍ら其の限度は萬一の場合我が國が其の存立を脅かされざる自衛の力を維持することにある事は勿論であります海軍々縮會議は已往數回の會合を重ね相當の成績を收めたのであります但し今回は英米共に非常なる熱心を以て慎重に交渉を進め來つたのであります軍縮會議正式の招請状は已に我國にも到達して居るのであります我國は此の好機に乗じ平素の目的を達成すべく大に努力しなければなりません

對支問題 次に我國民の常に忘れることの出來ないのは支那問題であります對支政策の要諦は日支兩國根本の利害に立脚し百年の長計を把握して當面の問題に善處するにあるのであります大局の利害を忘れて區々たる小問題に没頭する事は東洋平和の爲に執るべき方策ではないのであります大處高處に立脚して互に疑念を去り胸襟を披き極東の平和を維持し兩國の使命を完ふする所以を究め之を目標として進むことが賢明なる國民の執るべき態度であると信ずるのであります

緊縮と金解禁 現内閣が國民經濟の根本的建直しを行ひ産業貿易の振興と國民生活の安定とを企圖せんが爲め財政の整理緊縮を斷行し國民の消費節約を奨勵し財界安定の先決問題たる金の解禁を實現すべく着々準備の歩を進め來つたことは諸君御承知の通りであります財政の整理緊縮と云ひ國民の消費節約と云ひ決して萎縮退嬰を意味するものではありませんませぬ言を換へて申せば他日伸びんが爲に今日縮むのであります國運の大なる發展は大なる整理緊縮消費節約の後に始めて來るのであります現内閣は整理緊縮の方針の下に昭和四年度の實行豫算を作成し之と同一の方針を以て今や昭和五年度の豫算を編成しつゝあるのであります現内閣の方針によれば累年増加して將に六十億に上らんとする國債濫發の勢は阻止せられ明年度より國債の總額は幾分づゝ毎年減少することになるのであります若し國民の消費節約が今日迄の勢を以て此上一層廣く且つ深く行はれ更に明年度の豫算が幸に政府の方針通り編成することが出來ましたならば經濟難局打開に對する官民の努力は大體に於て好結果を收め金解禁の機運も愈々熟しつゝあるものと云ふことが出來るのであります然しながら財政の整理と云ひ消費節約と云ひ金解禁の前提として當に必要なるのみならず金解禁の善後策としても亦同様必要でありまして金解禁の實行と共に打切るべきものでないと云ふことは國民として堅く牢記して置かなければならないのであります

綱紀肅正問題 最後に一言すべきは綱紀肅正の問題であります申す迄もなく綱紀の振肅國民精神の緊張は實に國家興隆の第一要件であります而して國民精神の緊張を經濟的に解説すれば整理緊縮勤儉力行となり政治的に解説すれば綱紀肅正風紀振作となるのであります一部の人が綱紀を紊り不正の利益を貪るの時に當り同じ帝國の同胞中多數の者が失業に脅かされ衣食に窮するが如き状態の下に於て社會問題の頻發を抑へ國民思想の悪化を防ぐは實に至難の事業であります我國政黨内閣制が確立せられたのは僅かに最近のことであるに拘らず國民は政黨の美點を認識する前に先づ政黨の缺點を見せつけられた感があるのであります由來政治は信用を以て行はるゝものであります若し國民が政黨政治を信ぜぬと云ふことになれば憲政は再び逆轉せざるを得ないのであります今日の如き社會状態の下に於て又今日の如き思想混亂の下に於いて憲政の逆轉を繰返すことあらんか其結果は眞に恐るべきものがあるであらうと思ふのであります予は黨員諸君と共に身命を君國に捧げて強く正しく明るき政治を行ひ憲政發達の爲に盡瘁せんことを誓ふのであります

我黨の使命 我黨の政策は相當機關の議決を経て從來之を公表したものがあります又内閣成立後に於いて天下に聲明したのもあるのであります是等は緩急を計つて逐次之を實現せんことを期するものであります今日は明年度豫算の編成中でありますから自分としては未だ之を具體的に言明する時機に達して居ないのであります今や時局は極めて多事多難であります此時に當つて内外の雜局を打開し時弊を匡救するの責任は實に我黨の双肩に懸つて居るのであります國民の期待も亦此に在りと信ずるのであります我黨の諸君其責任の重大なるに顧み國家の爲益々努力奮闘あらんことを切望する次第であります

第五編 政府の聲明に對する政界及財界の聲

第一章 政府の聲明に對する政界の聲

一、金解禁の時期を明示せよ

山本達雄男進言

民政黨顧問山本達雄男は七月十二日午後一時官邸に濱口首相以下各閣僚を訪問組閣に就いての祝意を表したる後別室に於いて濱口首相と會見金解禁問題に就いて

金の解禁に就いては速かに實行するが至當である。元來金の輸出を禁止する時に年限を切つてすべきであつたので、英國の如きは五ヶ年に限り禁止したのであるから、解禁するまでに皆が準備も出来るし財界の影響もなく解禁出来たのである。故に日本でも今年には解禁不可能であらうから、來年の何月からとか、その次の年の何月からとか、時期を明示して解禁を聲明し、財界に準備せしむるがよいと思ふ。金の解禁によつて財界に影響あるが如く思ふのは誤りで、吾々が明治三十年に金本位としたときにも、財界に大動搖があるといふものもあつたが何の支障もなく解決したのであつて、これは世人が誤解して心配するだけであるから、解禁の時期を明示して財界に準備せしむるのがよいのではないか。

と解禁の期日を公表して財界に準備の期間を與へることを進言する所ありたるが、濱口首相としては、昭和四年度の實行豫算を緊縮し、更に來年度豫算も節約し、國民に對しても節約を徹底せしめ、この結果財界の實狀を見て解禁の時期を考へたい旨を答へし模様なり。

二、新内閣の財政政策に期待

貴族院 一部

貴族院 一部にては濱口内閣の財政方針に對し、少からず期待を寄せ其緊縮實現を希望し居れり、即ち

民政黨在野當時の主張に基き現内閣が金解禁を目標として斷然緊縮方針を執つたのは、在野時代の公約を履行するものである。又國家將來の爲め甚だ喜ぶべきことである。目下の經濟界不況は戦後の恐慌に次ぐに彼の大震災の影響を受けたもので斯る時には官民協力して消費節約に意を致さねばならぬ。従つて今回前内閣の放漫政策の後を受けた現内閣が本年度實行豫算中未だ着手せざる新規事業を中止し、來年度豫算編成に際しては原則として新規事業を一切認めざること、に決して政府自ら範を示したのは、目下の經濟界の事情に即したる方針と云はねばならぬ。唯之が爲め幾分か産業界の萎微不振を來す傾向はあるが、大局から我將來の經濟界の爲めを思へば、一時的の緊縮方針に依る産業界の不振は忍ばねばならぬ。

と稱し居れり

三、減税を斷行し民心を繋げ

貴族院 與黨系進言

政府は金解禁を前提として財政緊縮消費の節約に向ひて鋭意努力を傾け、財政の緊縮に依る結果を公債政策に利用して國債の整理をも實行せんとし居り、貴族院の同成同和會側にては、過般來緊縮方針と並行して大いに國民の負擔を軽減すべしと力説し、屢々濱口首相及井上藏相に進言して政府の考慮を促し居れり、而して今其理由とするところを見るに、何れも

一、政府が金解禁を目的として、財政の緊縮消費の節約を爲すことは、諸外國の實例に徴するも極めて妥當な方策であるも眞に金解禁の必要を痛感し、政府の緊縮政策を理解してゐるものは、貿易金融爲替關係者であつて、國民の大部分は殆ど政府の緊縮方針の據つて來る所以に就いては無頓着である。従つて緊縮政策の爲めに不景氣が深刻化し、或ひは地方的利害と密接なる關係を有する諸事業の中止繰延べに依つて直接打撃を蒙る結果、漸次民心が離反して行く傾向がある。仍つて政府は緊縮政策と共に減税を斷行して人氣の維持に努めねばならぬ。

一、歳計緊縮と消費節約に依る一般産業界の萎微不振は、延いて失業者の續出となり、由々敷社會問題を惹起する虞があるから、緊縮及節約と同時に國民各自が負擔する租税を軽減し、之に依つて購買力を旺盛ならしめて産業界を不況から救はねばならぬ。減税なき歳計の緊縮は、殆ど無意味であつて、政府が緊縮の結果を専ら公債の整理に利用することは、一般國民

の利益を無視して一部の國民に迎合することゝなるから斷じて賛同し得ないと云ふにありて、政府が此減稅論を閉却し居ることを遺憾なりと稱し居れり

四、緊縮徹底と消費節約の獎勵を期せ

貴族院側の意嚮

政府は緊縮政策を徹底せしめる爲め全國にリフレットを配布することに決定したるが右に就いて貴族院側にては現下の我財政は國力の膨脹と比例せず、徒に國民經濟を壓迫し、一般經濟界を萎微せしめてゐる次第であるから、速かに財政の合理化を斷行することは刻下の急務である、而も財政の合理化は我經濟界の建直しの一部に過ぎぬから、之と同時に一般產業界の合理化をも爲さねばならぬ、而してその爲めには是非國民全體が消費節約を敢行して政府の緊縮政策を支援する必要がある、從て政府が今回國民全體に對してリフレットを配布し、緊縮政策を徹底せしめると共に消費節約を獎勵することは誠に機宜に適した方法だと思ふ、緊縮政策に依つて不景氣が深刻化される爲め、與黨内部からも強硬なる反對論が擡頭し、政府が其主張を拋棄するに至るやうなことなきかを憂ふべき次第であると稱して居れり

五、緊縮の努力を多とす

貴族院議員 藤澤利喜太郎

現内閣の緊縮主義に對して吾人は全然共鳴するものである、所謂實行豫算に就いてはそれが多分の繰延を包藏するからとて非難する議論もあれど、さういふ非難は當らない、財政の緊縮といふことは歴代の藏相の努むるところであつて、繰延はその常套手段である、而も容易にその目的を達し得なかつたのである、兎に角に九千二百五十萬圓といふが如き巨額の節約を成就した井上藏相の果斷と努力に對して、吾人は衷心深甚の敬意を表するものである、故に情に於いてはこの際沈黙に終始したのであるが、情の爲めに理を托けるやうなことがあつてはならない、この關係に於いて想ひ起す元祿の快舉、赤穂義士の處分に對する、荻生徂徠の正論、その當時情理混淆の議論が天下を風靡した其の渦

中に於いて徂徠が毅然として立つて自己の所信に邁往直進したのは眞に學者の本領を發揮したものである

憲法第六十四條の「豫算」と「實行豫算」と唱ふる場合の「豫算」とは其の意義は勿論違つてゐる、後者は政府當局者の心掛とか施行上の目安申し合といふやうなものに過ぎない、故に他に適當の名稱があつて豫算といふ文字の使用を避けることができ、たならば幾多の誤解を事前に防ぎ得て甚だ妙ならんと思はれるのであるが、如何せんさういふやうな適當の辭がない、假に前者と後者とが同一の意味を有するものとすれば、前者は對照上不實行豫算といふことになる、結果からみれば、議會は不實行豫算に協賛を與へ、それが御裁可を経て公布せられた、さういふ不合理に陥るを免れないことになる

實行豫算の爲めにする臨時議會召集説の如きは似て非なる無稽の議論である、他の理由によつて臨時議會が開かれたとしても、そこへ實行豫算を提出するは、既に第五十六議會の協賛を経たる豫算案の抹殺若しくは大修正を前提するものであるから、それは不法である、それこそ憲法違反であるといつてもよいのである

施行豫算が成立し、同年度内に實行豫算なるものが編成された實例として、大正二年の第一次山本内閣、大正十二年の第二次山本内閣、大正十三年の加藤高明内閣の場合が挙げらるゝのであるが、それは今回の場合とは徹底的に異つてゐるから、今回の場合を合理づける爲めには、少しも役に立たない、暫に役に立たないのみならず、今回の場合の不都合なるを暗示するものである

大正十三年の場合には議會解散、豫算不成立の後を承け、前年度の豫算を踏襲したのであるから、憲法第七十一條に關する憲法義解の註釋に照らすも、そこに實行豫算を編成すべき立派な合理的根據がある、大正十二年の場合には豫算審議の當時に於いては到底豫想することが人間的に出來ない、關東大震災といふ天變地異の爲めに實行豫算の編成を餘儀なくせられたのである、故に一概に實行豫算と稱するものゝ、その意義性質は全然、今回のものとは異つてゐる、唯大正二年の場合が形の上に於いては今回の場合に似てゐるやうに見えるかも知れないが、この場合も又精神的實質的には全然、今回の場合と異つてゐる

大正元年末より大正二年の初めにかけて政變が頻繁に起つた、大正元年十二月廿一日に第二次西園寺内閣倒れて、第三次桂内閣これに代り、大正二年二月二十日桂内閣倒れて、第一次山本内閣これに代つた、さうして何れの内閣も豫算を編成することが出來なかつたのである、桂内閣が議會に提出した豫算案の實質は前年度の豫算であつた、それを山本内閣は一旦撤回し、數日の後一字一句の修正をもなさずして再提出したのである、それから議會終了後に大いに緊縮したる實行豫算

を作製すべきことを議場において公約し、議會はさういふ諒解の下に提出豫算案に協賛を與へたのである。この時の整理総額は七千餘萬圓に上り、その頃の歳出入は凡そ現在の三分の一に過ぎなかつたのであるから、この時に可なり思ひきつた節約が行はれたのである。さういふ譯で大正二年の場合も今回の場合とは全然違つてゐるのである。今回の如く全く政府當局者の自由意思によつて實行豫算を編成したといふ前例は皆無である。今回の如き場合は眞に空前である。

支出豫算は支出の最高限を示すものであつて、その制限内において如何程支出を減少するも可なり、極端の場合においてはそれがゼロとなつても差支ない、つまり制限内でありさへすれば、どんな勝手氣儘なことをしてもよいといふやうな途方もない説が廣い世の中に浮遊してゐるやうであるが、それは俗に所謂三百圓の無茶苦茶論である。それは増すと減らすとの違ひこそあれ、來年度の豫算を多分に請求する口實の爲めに必要もないのに無理やりに豫算を使ひ盡すと、か、旅費の豫算を餘さへらんが爲めに年度末に官吏に遊山旅行をさせるといふやうな淺はかな俗習的心理状態に根底する曲解邪説である。云ふまでもなく、議會が歳出を審議するには、既定の歳出は暫く措き、ある施設に就き、先づ以てそれが緊縮必要でありや否やを判断し、それからその施設を行ふが爲めに大體において過不足なき適當の支出額を認定して協賛を與ふるのである。勿論全然確定的のものでもなければ、又それだけは是非とも支出し盡さなくてはならないといふが如き強制的のものでもない。そこが即ち豫算の豫算たる所以である。さればとて豫算は支出の最高限を示すものであるから、その制限内においてはどんなことをしてもよいといふ理窟はどうしても出てこない。適法に成立した豫算を公式に更正するには、そこに全然議論の餘地なき實在的理由がなくしてはならない。若しさうでなかつたならば、法治といふことの根本が破壊せらるゝ、されば今回の實行豫算の如きは行政部内限りの申し合せに過ぎないとして置くより外には如何にしても活路が見出されないのである。これは一つの純然たる假設であるが、何等か突發事件の爲めに現内閣が年度内に總辭職を行ひ、新内閣が出来たとする、この新内閣がどこまでも生きてゐる本年度の公布豫算を施行するは當然すぎるほど當然である。この場合現内閣の實行豫算なるものは寸毫も新内閣の行爲を掣肘しない、否、少しでも掣肘するやうなことがあつてはならない。又内閣の更迭の有無に拘はらず、昭和五年度の豫算が不成立になつたときに踏襲すべきものは勿論四年度の公布豫算である。尤もこの場合には五年度の實行豫算を編成すべき合理的根拠がある。

これ等の事例に鑑み照らすも、所謂實行豫算なるものは、一内閣その部内に局限せられた經過的、浮雲的の性質のものであることが明かである。又既に前に述べた如くその爲めにする臨時議會召集説は勿論のこと、よし臨時議會の序があつたとし、ても、議會に於いて所謂實行豫算なるものを公式に披露することは不穩當であるやうに思はれる。要するに實行豫算といふが如き仰々しい名前を付するのが、誤解、疑惑、紛議を生ずる、抑々の根源である。少し文句が長過ぎる嫌ひはあるが、豫算を施行する上の實行心得といつたやうな名前が付してあつたならば、それでも議論の起るのは避け難いとしても、少くも議論の起る餘地を最小限度に緊縮し得たるならんと思はれる。

さて今回の實行豫算なるものは、單に行政部内限りの申し合であるとしても、問題は尙ほ依然として残つてゐる。議會が協賛した豫算を無視し、若しくは結局無視する事に歸著することが、憲法上において合理的でありや否や、その動機が善良であり、その結果もまた國家百年の長計のためになることを識者の多數が認めたとしても、それはこの非常手段を寛假すべき理由とはならないのである。この點については法政論者として名聲赫々たりし地下の徂徠先生を甦らせて先生の教へを請ひたいのである。

今回の實行豫算については、その動機目的に對して吾人は共鳴感謝こそすれ、一點非難を加ふべき餘地のないことを信ずるものなれど、翻つて考ふれば、これが先例となつて、何時でも成立豫算を無視して勝手な實行豫算を作つても差支ないといふことになつたならば、そこにはこの先例が悪用せらるゝ危険がある。豫算成立後に内閣の更迭が起り、何人が見ても眞に緊急必要な施設を後繼内閣が黨争激甚の餘弊としてその施設が反對黨の主張に胚胎するの故を以て、意地づくに廢棄するが如きこれは單に一例に過ぎず、その外にも幾多悪用の場合が想像に難からないのである。されば斯くの如き先例は議會の豫算審議權協賛權を輕蔑するのみならず、幾多濫用の可能性をはらむものである。所謂實行豫算の編成、そこには重大なる責任の伏在することは、如何に辯疏しても到底否定することはできない。それにも拘らず、經濟國難來の聲囂しき現在時局の重大なるに鑑み、一片報國の赤心、この世智辛い凡俗の世の中に於いては、兎角不人氣に陥り易い緊縮政策を提げて、矢も楯も堪らず、その遂行に轟進せらるゝ、濱口内閣の信念、勇氣、壯烈後世の史家がそこに赤穂義士の偲を忍ぶならんことを想像せられる。吾人は恰も板ばさみの間に自己を發見したるが如き趣ある濱口内閣の境遇に對して、深甚の同情を禁ずること能はざると同時に、今回の場合に於ける實行豫算の例、それがたゞに空前であるのみならず、わが憲政の定石的健全なる發達の爲めにそれが絶後ならんことを切に祈るものである。

緊縮政策の成功を祈る

井上角五郎

井上角五郎氏はこの程濱口首相を訪問し親しく意見を開陳せるがその大要は左の如し
 私は政府今回の緊縮政策を民政黨がかねて主張した消極主義と同視して居らぬ要するに我國既往の成行と現在の状態とが閣下をして餘儀なくこゝに出でしめたのであつて私は國家の爲に切に閣下の成功を祈るこの政策は政府が單に中央地方の財政を節減するのみを以て足れりとせぬ同時に民間の會社銀行をも整理せしめねばならぬまたその日常生活をも改善せしめねばならぬこゝに始めてこの政策の成功を告ぐるのである會社銀行の整理日常生活の改善これ等はいひ易くして行はれ難く單に政策の力のみならず必ずや一般社會の共鳴してその自らを覺るをまたねばならぬ然るにこの兩者は共に急務であつて殊に日常生活の改善に至つては最早一日も棄て置れぬが如き感がある
 これ私が曩に一書を呈して一大果斷の手段を取られん事を勧め特に一案を具して閣下の參考に供した所以に外ならぬその案は即ち

一國民の餘裕に課税するの主旨に依りて所得税法を改めその累進税率を引上ること
 但し年限を定めて復舊するものとす

一これに依つて得たる収入を以て勞働階級の救済に充つる事

私は思ふにこの案を見るものは直ちに金持イヂメと評するかも知れぬ一國の政治就中臨機の政策には往々にして一部の利益となつたりまたはその不利益となつたりするを免かれぬ井上蔵相が公債整理は資産階級の保護の爲にあらざると特に言譯して居る蔵相がその資産階級の爲にせざる事は私もこの言譯を待たずして認むるけれども公債整理に依るの利益は勢ひ資産階級に多い事を否む能はぬこの臨時の課税が單に資産階級より餘裕を取り立つるのみの目的にあらざる限りは假令金持イヂメと評するものありとも毫も氣に掛くるに足らぬと思ふ

勞働階級の救済はこれを如何にすべきかその臨時の救済を爲すにも力めて彼等の品位を高め技量を進むるに充分の注意を拂ふはいふまでもなきことである但し事業を繰延べまたはこれを中止するには必ずしも絶對なるを要せずその緩急

を謀りて相當に參酌を爲し特に産業發展に資すべきもの並に民政黨の方針にして私が政友本黨員と共に前年會て賛成した所の教育費國庫補助の如きは進んで實行せられんことを望むのであるけれども勞働階級の救済を名として或る事業に限り或る地方に於いてこれを起すといふが如きは緊縮政策の破綻を生ずるものといはねばならぬ故に私はその救済を特に別途の資金を以て別途の方法に依ることを望むのであつてこれまた私の案の目的とする所である

金貨輸出の解禁を何が故に閣下は尙ほ躊躇して居らるゝのか即行も可なり直ちに期日を公けにして數日を後らすも可なり但し私は井上蔵相が適當の時期といへる言葉を解する能はぬ想ふに世間の多くもまた然るのであつて閣下にして若し緊縮政策に成功するの決心あらば國民の多數は必ずや閣下のその成功を援助するを疑はぬさればその成功はこれを解禁以後に於いて見るも決して遅しとせぬ最早今日においては社會をして安堵せしむる所以のものはたゞ速かに解禁を斷行するの一事あるのみである

私は現に政黨に加はつて居らぬ勿論議員にもなつて居らぬけれども幸に頑健なので政治家は腐敗する資産家は贅澤する一般に風俗思想が動搖するこれ等を願くは改善して見たいと思ふ餘りに頻に信仰を鼓吹して居る閣下が緊縮政策を實行せらるゝに當つてもまたこの社會の有様に對して充分の考慮を加へられよ私の希望する所は實にこれに過ぎぬ

善人政治に共鳴せよ

内務參事官 内ヶ崎 作三郎

少年が青年となるに及んで本能が眼を覺ますその慾望が旺盛となりその行爲が大膽となるかれの欲するまゝに任ずる時は往々にして常規を逸し放逸に流るゝことゝなるこれを矯正するには反省と自覺との道に進ましめねばならぬ懺悔後悔精進の試練を経てかれは正しき人となるかれの家族と社會と國家と人類とに於ける位置が意義あるものとなる

國家が發達の途上その獨立が確保せられその産業が進歩して安定の位置に立つと文化が長足の進歩をなす同時に生活が華美に失し財政が放漫に流れ易い斯る場合には整理緊縮によりてその經濟的立て直しを斷行しなければならぬ

個人としても時々反省自覺することが必要なるが如く國家として折々整理緊縮して向上精進することが肝要である私は強ひて古代の事例を引くことを好まない徳川時代の國家生活における二三の現象についてこの原則を證明して見

たい徳川家康は苦勞人であつた、困難の試練を経て大成したる偉人であつた。彼は勤勉力行、質素、尚武の權化であつた。従つて彼の私生活は簡素の極みであつた、彼の創始したる幕府の組織は割合に單純なものであつた。

然れども二三代を過ぎ綱吉家綱を經家宣の時代となるや、財政の難局に立たざるを得なかつた。蓋し徳川幕府の收入は直轄領地の租税以外に海外貿易の利益及び直營鑛山の利得とを見積つたが、家宣時代には兩者の利得は極めて微少なものであつた、而して綱吉以後の豪華な風俗と放漫政策とが社會國家の本流となつたのである。新井白石は放漫主義の財政官萩原重秀を彈劾して緊縮主義を力説した、八代將軍吉宗は、大岡越前守を町奉行に拔擢して、大に綱紀を肅正した、吉宗の緊縮政策は獨り財政上のみに限らず、政治及び文化の各方面に徹底したものであつた、かれが徳川中興の英主と崇められるは當然である、その後財政は更に不安となり、綱紀は弛緩した。

十一代將軍家齊の時代に、松平定信の所謂寛政の改革が行はれた、彼は不正たる官吏を處罰し、名藩主を表彰し、諸侯旗本江戸町民に對し、各々特殊の節約令を發した、而して彼の節約主義は積極的であつた、即ち江戸町々の經費を節約して剩したるものを十とし、その七分を町々の將來の爲めに圍籾及び積立金となした、それが明治七年には百七十萬兩となりて、東京市の大財源となつたのである、新井白石を第一次吉宗將軍を第二次松平定信を第三次の緊縮政治家とするならば、第三次のそれは天保改革の中心人物水野越中守忠邦を擧げなければならぬ、かれは天保十四年に經費五割天引主義を斷行し、庶政の刷新を圖つた、憾むらくは幕府の末路に近く、土風廢頹、財源涸渇、風俗紊亂の極に達して、その目的を貫徹することが出来なかつた、然し一種の荒療治であつた。

今や田中内閣の放漫主義の後を承けて、濱口内閣が成立した、然して經濟的難局を打開して國家の財政的基礎を鞏固ならしめんがために、公私經濟の整理緊縮を標榜して、その十大政策を實行せんとしてゐる、第五十六議會の協賛を得たる豫算を節約して、經濟的苦境より國家を救済せんとしてゐる、もとより一黨一派の問題ではない、苟くも君國を熱愛するものはこれに共鳴すべきである、立憲政治が帝國に行はれて正に四十年、幾多の政治家が選ばれて、國政を擔當した、然れども、人格崇高、清廉剛直然も、財政の大權威を兼ねるもの、先づ指を濱口首相に届すべきである。

かつてピットが英國政界の腐敗を匡救したる如く、リンカーンが黒奴の解放に努力した如く、わが濱口雄幸君が我國家が知らず識らず落ち込まんとして、ある闇黒なる陷穽よりこれを光明の天地に引き上げんとする使命の人である。

金解禁を斷行し、財政を整理し、産業を振興し、教育を刷新し、發明獨創に獎勵し、社會政策を實施して、生活の安定を期せねば

ならぬ、正にこれ國運の轉換期である、更新の秋である。

この畫時代的使命を中心として、朝野二大政黨は對立してゐる、斯の如く、旗幟鮮明なる政治的對立は、空前の壯觀である、兩黨は宜しく正々堂々として戦ふべきである、論ずべきである、國民は嚴正なる審判をこれに下さなければならぬ、兩黨はその智慧と勇氣と信念と道義とを傾倒して、正面衝突すべきである。

敢て望む、國民よ、常に眞なるもの、善なるもの、美なるもの、友たれ重ねて云ふ、我國における緊縮政治は、傳統的理想政治、即ち善政であると敬愛する國民よ、理想主義則善人の政治をして、終局の勝利者たらむるやうに、我等の運動に共鳴せられんことを希ふ。

第二章 政府の聲明に對する財界の聲

暗黒時代より光明時代へ

有力銀行家觀測

七月九日發表されたる政府の聲明書殊に金解禁のそれに對して銀行家の意見並に觀測を聴くに何れも申し合せた如く左の點に於て一致して居れり

金解禁の時期 聲明書の第八項にある諸般の準備を整へ近き將來に於て金解禁を斷行せんことを期すの文句から察するに二年乃至一年半或は一年以内にも解禁する様に解せられ先づ明年中には斷行するものと見て差支へない尤も來議會は解散され様から明年度の豫算編成は困難で勢ひ昭和四年の實行豫算を踏襲する事とならうがそれにしても本年度に於て充分緊縮政策を採る旨を聲明してゐるのであるからこの實行豫算を施行し得る様にさへなれば金解禁を行ふ準備が整ひ何時斷行してもよいといふ政府の腹であると解される

解禁聲明の影響 國民一般は解禁すると異常な不景氣が訪れ財界に大きなショックを與へるものと解してゐるのであるがそんなに急激な變化は來ないと思はれる従つてこの聲明によつて不景氣を招來することは間違ひないが大したことはないまた假令不景氣になつても從來の暗黒なる不景氣と異り前途に光明ある不況であるから國民は耐へ忍ばなければなるまい政府並に商工會議所等は此解禁の影響に關し國民の理解を指導する必要がある

軍備問題 歴代の内閣が口にはばかし唱へて實行出來なかつたこの問題を宇垣陸相といふ適任者を得て斷行することゝなつたことは大出來でこの内閣でなくては出來ないことと思ふ

對支問題 從來は政治的見地から主として對支問題の解決に當つてゐたがこれを經濟的見地から處理しやうとしてゐることは至極贊成であるそれでこそ始めて眞の日支親善の實が擧がると謂ふものである

銀行本位不可株式は樂觀

東株式取引所 岡崎理事 長

現内閣は金解禁の準備のため財政の大緊縮を圖る事となつたので當然不景氣は深刻にはならうが證券界は之に反し却つて好影響を齎らす事と信ずる即ち緊縮政策の結果公債の大整理を行ふため公債募集に依る金融市場の壓迫は除去され資金の需要は減退するから金融緩漫を招來するに相違ない。從來の緩漫は變態的であるが今回の場合は當然である。斯く金融緩漫の結果は値下げに依る利廻りの高率となつた株式に投資の行はれることは當然である。前内閣時代は金解禁が何時行はれるか不安があつたが今回は略々見極めが付き前途に光明がある此の際株式に投資すれば將來解禁後必ずや有利であるに相違ない従つて相場師の中には難平買を提唱するものがある井上藏相は解禁後緩漫論者であるから解禁するとしても明年は或は總選舉があり新内閣の政策も行はれぬから昭和六年の五月頃にならう何分藏相は金融界本位で金融界即ち實業界の如く考へてゐるやうだが此の態度を改められたい節約ばかりが能ではない

糖界解禁影響少し

大日本製糖常務 伊吹 震

政府は愈々金解禁斷行の方針で財政計畫を樹つる旨發表した之れは國民全體の希望によるものである今後國民は一致して勤儉力行事業會社は緊縮方針で進まねばならぬ。即ち無駄を省き生産費を低下し以て解禁に堪え得る實行を養はねばならぬ。此時に當つて我が糖業界の現状を見るに吾々が理想として永年努力して來た國內の自給自足は漸く實現を見るに至り一方本年初頭に成立した各社の産糖協定も協調確保されて目下の處何等の不安もない。此の調子で行けば近き將來に政府が金解禁を斷行しても我が糖界は大した打撃は蒙らない事を言明し得る即ち解禁すれば爲替は平價に復し従つて外糖の輸入を容易ならしめるが各社の協調さへ完全に保たれれば自給自足の今日何等恐るゝに足らぬと思ふ

期限付き金解禁を宣明せよ

財界の要望

實行豫算の緊縮實績發表並に昭和五年度豫算の徹底的緊縮豫想政府の消費節約宣傳國民精神緊張の普遍化爲替相場の漸騰歩調等金解禁の形式的並に實質的の要件が漸次完備され行くに連れて金解禁が近き將來に於いて必然的に決行されるであらうといふ期待は益實現性を加へて來つゝあるがこの時に當り金融界を中心とする財界の一部に期限付解禁要望の聲が日と共に擴大されつゝあるは注目すべきである即ちその理由とするところは金解禁を執行する上に最も憂慮されて居るものは現下の與黨少數を基調とした來議會の解散續いてその選舉結果の豫想極めて至難といふ事であり若し選舉に與黨敗戦して内閣總辭職し金解禁の機會を逸失する様な事にでもなれば日本の財界は前途愈々暗澹平價切下げの止むなきに至るべきは明かだこれを事前に防止する萬全の策は期限付解禁以外になく金解禁の期限さへ中外に宣明して置けば假令現内閣が總辭職しても金解禁は當然決行せらるべく次の内閣の政策如何に拘らず既に對外的に日本の信用面目問題となつて居る以上無暗にその解禁期限を遅延乃至破棄する事は萬あるまいといふにある

聲明の時機に三つの意見

- 一 金融界の要望せる期限付金解禁の聲明の時期に關して有力者には次の三説がある
- 一 來議會召集前に議會を解散するならばその選舉戦績の判明せざる内
- 二 昭和五年度豫算案編成終了の直後
- 三 來議會の解散後選舉結果の判明せざる内の時期

緊縮豫算は上出來

銀行家側

昭和四年度の實行豫算が九千萬圓もの削減は銀行家方面では寧ろ意外とせる位で批評を綜合すれば下の如く之れには世辭なしに満足の意を表してゐる尤も削減の内譯が節減三千萬圓繰延六千萬圓といふので節減の方が割合に少いといふ憾みはないでもないが已に四分の一を經過せる今日としては先づ以て上乘の出來と云はねばなるまい之に就ては素より藏相の勉強首相の鞭撻を大いに多としなければならぬが又以て各省大臣が能く結束して之れに當つたことを推賞して

已まない。殊に從來殆ど不可能事として觀られてゐた陸海軍に對しても思ひ切つて削減を行つた事は誠に上出來であつた國民も此削減振りに對しては恐らく好感を以て迎へる事と思ふが之れが延いて來年度の豫算編成の上に大に助けとなる事と信ずる又國債發行額を一般會計の方を全然中止し特別會計の方も僅かに五千萬圓内外で止めた事は國債整理の上の相當の成功を収めたものと言はねばなるまい尤も此豫算削減に對しては何れは各所に悲喜劇も行はれるであらうが今や金解禁に邁進せんとする以上所謂小の蟲を殺して大の蟲を生かさねばならぬ時である此意味に於て我々は來年度豫算に於て更に大削減を行ひ以て解禁の機運を促進せんことを期するものであるが差當り本年度の地方並に植民地實行豫算も此方針で英斷を試みられん事を切望して已まない

事業界首腦の金解禁影響樂觀説

金解禁の各事業界に及ぼす影響並に之に對する各社の對策を講ずべく卅日午後東株ビルに於て日清紡績(宮島社長代理大日本人造肥料淺野洋灰權太工業片倉製絲日本石油六社代表者の講演ありたり各社とも解禁の影響を重大視し之の前にし不用資産の切下げ人員冗費の淘汰能率増進等による整理緊縮によりて此の難局を突破すべく着々實行に努め居れるが解禁の影響に就いては多く樂觀論を吐き居たり併し減配をしても社内保留を多くし拂込を徴收して外部負債を内部負債に換へて行かうと云つた傾向が窺はれ事業會社は株價の低落と戦ひつゝ内部の充實を急ぎ居るものゝ如く其の各社代表の意見は大要左の如し

影響少なし

生絲事業 今井 五介

わが國生絲の輸出額は百萬圓金額にして八億圓乃至十億圓でわが國輸出の大宗であるが製絲原料買入の相手が農家であり爲替關係の變動は影響する所至大であるが豫て要望する如く三四月頃行はれば製絲會社農家輸出商共に影響少いだらう爲替の恢復による輸出生絲相場低落の損害はわが國と米國と折半で受けるべきであらうがよし三弗の爲替高の責任をわが國だけで受けるとしても最優等千三百三十圓まで下つて來ては今後激甚な影響は來まい

心配はない

製紙事業 藤田好三郎

製紙年額十二億封度に達するが解禁の影響は(一)バルブは一封度六錢の内四厘宛爲替高の影響を受ける筈だが、加奈陀の投資会社B.C.と協定してあるから爲替の變動の影響なし(二)製紙は販賣競争で輸入値段以下に下つた之に懲りて王子、富士紙権工の三社共同販賣で年五六百萬圓を生み出さうと云ふ計畫も大分賛成を得て來たし、紙の消費は過去如何なる不況の際も増加率を變化させるだけで減少したことはないから心配ない

整理で補填

石油事業 津下紋太郎

日本の石油相場は爲替よりも米國油況に支配される。然るに最近米國は政府の資源保存論と民間の消費増加で高く日本も爲替高に不拘米國につれ引締つた。我國民間所要三千五百兩此の三分の一は日石が生産し、その二分の一は外國の原油を使つてゐる。この外油の石萬兩の値を正味二圓として千二百萬圓爲替五分の變動で六十萬圓のロス之に手持四、五十萬圓を加へて百一、二十萬圓の損害が出るが日石は今回の大緊縮で二百四五十萬圓を浮ばせる積りである

解禁影響なし

洋灰事業 淺野良三

我が國洋灰輸出額は年二百三萬樽、一千萬圓で總生産額の八分三厘に當り、其の額少く商品が安くて重くて輸入税が高いから、解禁による外國品の壓迫は全くない。緊縮政策の影響は政府一割緊縮と見て、月四萬樽、民間五分と見て、月六萬六千樽の減少を見るが、年々の自然増加二割二、三分と洋灰原價の二割五分を占める工賃の低下、石炭、骸炭等の原料安を見込めば之も輕減される。九、十一月の限産率は平均三割六分八厘の高率だが、公休日一割を差引き、聯合會査定能力が實際より一割程度

少いと輸出補充生産を考慮すれば一割強の限産率にしか當らぬ。新設の擴張工場は一年だけ倍の限産率を受けるし、供給調節が取れてゐるから市價は安定するだらう

準備既に成る

紡績事業 宮島清次郎

紡績會社は解禁により買付原棉の値下りと手持の値下りを受けるが、解禁唱へられて既に十年、會社側も準備怠りなく原棉の買付は手控へてゐる。製品値下り損は原棉値下り損より多いが原料が下り、諸製造費が安くなれば、この方で生産原價を低下出来るから、この方で補ふことが出来る。要するに紡績業は準備既に成つて居る

差引損得なし

肥料事業 二神駿吉

最近多數の株價が拂込みを割つてゐるのは不思議に堪へぬ。如何に緊縮だとして肥料を節約する事は國家の食糧政策上由々しい大問題である。我國は耕地面積の割合に人口が多いから肥料を多く使用して農産の増收を圖らねばならぬ。當社は其の製品のみでは需要に應ずる事が出来ず、外國品を購入してゐるやうな有様であるから、解禁によつて製品の値下りありとするも、外國品を安價に購入し得るから、差引損はない。影響ありとすれば現在のストック品の値下りであるが、ストックは四千トンに過ぎないから、結局四萬圓の値下り損に過ぎない

金融界に偏重に過ぐ

商工業者側

緊縮豫算に対する商工業者の意見を綜合するに大要左の如くである

約九千萬圓の緊縮を断行し得たことは内閣としては成功であつて、政府の意氣込を見ることが出来る。然し九千萬圓の削減は主として事業の繰延べによるものであつて、全然中止したものと異なる。従つて單に現在支拂ふべき金を將來に繰越したに過ぎない。これでは駄目である。もつと根本的に遡つて行政組織を改革し、大正八、九年時代の物價昂騰時代に引上げた官吏の俸給を引下げ、等を断行せねば駄目である。而して緊縮豫算の内容を見るに各省一律に同様の削減を爲し、産業方面の施設に對して何等の手心を加へてゐない。元來内閣の一枚看板たる金解禁は我國としては早速實行しなければならぬこと。が之に對する現内閣の努力は多とするが國民の要望は金解禁そのものでなくして金解禁を爲し得る財政經濟状態である。經濟界は常に急激なる變化を忌む。一日も早く金解禁をしなければならぬから財政は何でも緊縮する國民の消費はたゞ節約せよといふ調子では、不景氣は急角度に深刻を加へ、我々商工業者はたまつたものではない。今日の經濟の發展は生産の發達と共に他面消費の急激なる膨脹に負ふ處が多い。然るに國民の消費を節約して生産を萎靡せしめ、之に依つて物價の低落を企圖することは、産業を不振ならしめ國民生活の向上を中斷する。然も政府は節約に依つて餘し得たる財源を全部公債財源に充てるといふが、之では公債所有者、即ち實質的には銀行のみを保護、他の全産業界の犠牲に依つて金解禁を断行するも、で、解禁断行後の金利高に惠まれるのも獨り銀行家である。この政策を金融偏重政策なりと非難されるのも無理はない。近年製鐵肥料人絹を始め、各種の工業に於て擴張發展の氣運に向つてゐたが、之等の計畫は現内閣の政策に會して遽に停頓の狀に在る。殊に自己一個の力で改良費を捻出し得ない中、小工場者が、壓倒的に多い我國では政府の各種施設の中止が工業の進歩を阻害すること甚だしい。而も輸出貿易品の半ば之等中、小工業者の生産に係るものなるを思ふ時、貿易の前途にも亦不安を感ずる。要するに現内閣の政策は産業界の實情を殊ど無視し、經濟發展に逆行するの觀がある。物價は低落し、収益が減ずることによつて一般商業者並に一般國民は打撃を蒙るが、其の負擔する税金は一向下がらぬのだから、不公平と評せざるを得ない。

鐵鋼關稅引上要望

鐵鋼協議會

金解禁の準備として政府に國際貸借改善關稅改正等の意向のあることを觀取した鐵鋼協議會は、これを機會にかねての

希望である鐵鋼關稅引上實現を期すべく、右國債貸借改善關稅改正の兩審議會に提出する陳情書作成の爲め幹事會を開催野田立石(製鐵所)牧田(三井)白石(今泉)日本鋼管(河村)三菱(伊藤)神戸製鋼(木瀬)釜石(一色)日本製鋼の諸氏出席先づ國際貸借の上にて

一、大正九年より昭和二年に至る入超合計二十九億五千七百萬圓に對し、その間の鋼材の輸入額は合計十四億九百萬圓(四十七パーセントに當る)昭和三年に於ける入超二億二千四百萬圓に對し、鐵鋼材輸入は合計一億四千九百萬圓(六十七パーセントに當る)これに鐵を主材料とする機械等の金製品を加へるときは、昭和三年度の輸入は約二億五千萬圓となり、鐵鋼材が内地に於いて自給自足の域に達すれば國際貸借を平衡に近づき得る

一、内地鐵鋼業は最近その一部に於いて漸く自給自足に近づきつゝあるが、全般的に自給自足に達せしめる爲めには、相當程度の關稅引上を要する

といふことに一致したが、引上の程度に就いては從來協議會から屢々陳情せしところと事情の異なるものある爲め立石今泉、河村木瀬一色の五氏にて小委員會を設置して生産費、歐洲鋼材、インド鐵の輸入價格を考究し、一日更に幹事會を開き陳情書をまとめることになれり、尙ほ金解禁の影響に對しては昨年十一月既に解禁の場合爲替がパーに回復するものとして鋼材ト五圓の直下りを政府に陳情し、その後外注直段の低落爲替の昂騰によりて、殆んど直下りを見ざるまでになり居れるが、要するに計數的の變化に過ぎず、今回の陳情書には別段觸れぬことにせし由、而して鐵鋼協議會は幹事會後小委員會を開き、關稅引上要望程度、即ち外注直段と生産費の開きにつきて協議し、大體外注を七ポイント輸入直段九十一、二圓と押さへ増産を改良の結果低下したる生産費を百二、三圓(金利利益、償却を含む)と見、その開きを約十圓と踏みしが、原料の銑鐵屑鐵等の直段の決め方によりては生産費に變化を來すより製鐵側のみの小委員會を開きこの點を明確にし、然る後生産原價を決定することにせりと

玉石混淆の憾

大同電力 村 瀬 副 社 長

今回新内閣の金解禁断行は自分としては、當然すぎる程當然であると思ふ、それに就いて自分の最も希望し度い點は政府

の節約といふ事に就いてある。即ち政府の今回の方針を見ると玉石混淆で不生産的の事業も混同して中止する様に思はれる。斯くの如きは決して緊縮政策ではない。眞の緊縮政策は不生産的なるものを徹底的に差控へ、生産的なるものに對しては假令それが前内閣の爲したる置土産であつても之は大いに援助して助長すべきものではないかと思ふ。

金解禁は四五月頃乎

蠶絲業者意見

七月九日發表の施政方針に依ると政府は徹底的に財政整理を行ひ以て金解禁に備へると云ふ譯なるが之に關する蠶絲業關係の意圖は左の如し

金解禁斷行に依つて蠶絲事業家は相當な打撃を免れないが一方解禁を行はねば爲替の絶え間ない變動の爲めに採算の基礎を樹て難い損失がある。依つて蠶絲業者としては寧ろ速に解禁の行はれることを欲するものである。只其の時期に就いては反動を可及的少なからしめる爲め、四月下旬乃至五月上旬の滯荷減少の時期を以て適當なりとせり。

解禁は製粉界に好影響

日清製粉社長 正田貞一郎

金解禁について自分は昨秋銀行家の即行決議の後爲替が低落して對米四十四弗臺に低迷した當時現在の如き爲替状態に於ては解禁不可であるが今後四十八弗臺に昂騰したならば期限其他適切なる準備を行つて機を逸せず斷行すべきである。各種の事業家も宜しく度胸を決めて懸るべきであらうとの意見を發表した。其後約五十日間北米合衆國並に加奈陀を視察して歸朝の途中に於いて漢口内閣成立し金解禁問題を政策の中心として聲明と同時に着々準備に取りかゝることを聞いて大いに時宜を得たものと喜んだ。金解禁は我財界を定石に移すべく是非斷行すべきことであり之が爲には相當の苦痛を忍んでも消費を節約せねばならぬ其結果として一般物價の低落は當然のことである。政府の解禁準備は既に實行豫算其他の上に實現され其の精神は大いに一般に徹底して來た併し其の結果實際よりも人氣によつて總ての方面に恐怖を來し

各事業界は甚だ緊縮の度が強くなつて來た斯くの如き現象を呈するのは勢ひ止むを得ないことではあるが今日の狀態はこの儘に放任を許さないのである。寧ろ更に一段の力を加へて準備の完成に遺憾なきを期し以て一日も速かに解禁を決行することが今日に於ける最上の策であると考へる

然らば金解禁の實現によつて製粉界の蒙る影響は何うかと云ふと之を一言にして申せば恐らく多數の事業中に於いて最も影響が少いと思ふ何故なれば製粉の原料たる小麦は國際的商品であつて世界各産地に於ける小麦の豊凶によつて相場は短時間にして五六割の變動を來すことは敢て珍しくないことである。現在四十七弗見當の爲替がバーとなり約二弗半の急騰を來した場合に假りにこの爲替の影響が全部會社側の負擔となつたとしても百斤俵につき僅に二十四五錢である従來外國小麦の高低三十錢位の幅は度々經驗する所であり今後麥が高くなれば算て粉價の値上りが來るかも知れないと考へる程であつて爲替相場の昂騰による影響は殆どならぬのである。只相場の下落によつて受くる内地在荷の影響の點であるが之も今日では内地向は殆ど内地小麦を原料としてゐるので別段の心配を要せぬ状態にある。其處で問題は外國小麦原料とする方面である。然るに今日我社で手當中の外麥は總て安値時代の仕入品であつて寧ろ昨今の外麥相場は我社の仕入時よりも高くなつてゐるので之また何等意とするに足らぬのである

以上述べた製粉會社としては在庫原料の關係に於いて少しも心配する必要はない更に解禁後の製品の販賣に就いて考へる時は寧ろ樂觀すべきであるといひ度い。夫は製粉は重要な食料品として生活の必需品であるからである。相場が安くなれば一般の需要は期せずして増大して來るのである。昨年は内地向の外輸出向きとして六百萬袋二千四百萬圓を製造し本年は一千萬袋約四千萬圓の輸出を見る豫定であるが支那南洋とも續々輸出は増加の一方である。爲替の昂騰によつて輸出は困難になると見られるが原料の輸入値段が同程度に安くなつて來るので夫で相殺され爲替の壓迫は一つもないと云ふ譯である。此點は内地原料を以て輸入品と競争する例へば石油の如き商品とは甚だ其の趣きを異にしてゐる

以上の如く解禁の製粉界に及ぼす所は何等案ずるに足らないのである。従つて我社の業績についても殆ど影響はないことは申上ぐるまでもない位である。尤も解禁後の金利引締については豫て考慮して居る所であつて多少の金利負擔の増加

は我社に限らず總ての事業會社として覺悟すべきことである併しながら我社として過大の負債も無し又多少の金利負擔の増大は從來爲替不安によつて受けて來た損害を免れることによつて帳消しになると考ふる加之我社としては爲替安定によつて愈々確實なる採算が立つやうになるので今後は更に一層の努力を以て海外輸出にその大發展を期する計畫であつて今後の業績に就いても充分なる成算を有してゐる

金解禁實行期を國民に問へ

武 藤 山 治

民間經濟の發展向上の爲には積極的にして、經濟的に進まなければならぬことは私の常に主張してゐる處である然るに今次の民政黨内閣は濱口首相を始め井上藏相其他閣僚は財政の緊縮を標榜し民間經濟界に向つて消費節約を大童になつて宣傳しつゝあるが之は實に舊式なやり方だと思ふ政府の事業と吾々民間の事業界は全く別なものである今より十年前には我國に於いては日本銀行が市中銀行を統制し左右したものであるが今日ではまるで反對で三井三菱と言つた財閥の力が強大になつてゐる即ち昔と異なつてゐるのであるが此の意味合からして政府の事業は政府自身のなすべき仕事であり國民經濟の全體から見れば極めて小さいものであるそれに無駄な不合理な點があるならば自ら節約することは言ふ迄もないが之を民間に向つて強るやの觀を吾々に抱かせるのは少しく其度を超えて居ると思ふ

井上藏相は金解禁を斷行する爲には財政緊縮を行ひ外國品の輸入を壓迫して爲替を高くしてからやりたいと言つて努力してゐるやうだが私も爲替を高くする爲めには斯くの如き手段もよからうと思ふ何しろ我國は毎年一億五千萬圓が外國より借りになつてゐるのだから之を無くするためには右のこの必要なるは當然である然しそれは井上藏相に教へられなくとも何人でも知つてゐることである工業會社の如き利益少く株主配當が出来ないと言ふ状態の時には事業經營者は貸銀の引下げを斷行したりするが今日の事業經營は斯くの如き方針は取らない米國の如きは右のやうな消極的な經營者には事業の經營を依頼しないそれよりも斯る場合は職工の賃銀を引上げ待遇を改善して從來に倍した能率を擧げる方策を取つてゐる井上藏相は國際貸借が借になつてゐる現狀が繼續すれば不景氣になるのだから財政緊縮だ消費節約だと

言つて民間に消極的對策を仕向けてゐるがそれよりも局に當る責任者の立場から吾々に向つては消極的に經濟的な努力を行へと呼ぶべきである

然るに此事なきは百害あつて一利もないことだと考へられる曾て井上馨氏が伯爵當時日本の現狀に於いては是非共消費節約を斷行して處さなければならぬと主張し當時三井邊の重役連は随分困らせられたものだ然るに井上伯は其時政局に何等關係がなかつた爲め國民一般に及ぼした影響は極めて微々たるものであつた然るに今日は濱口首相も井上藏相も政局に携はつて居て提携宣傳するのだからたまたまものでない勿論それかと言つて私は政友會の不經濟極まる積極政策には反對である併しながら民政黨内閣が金の輸出禁止解除を斷行するならば消極政策を採るよりも金解禁の時期を決定した方が善いと思ふさすれば各人自らそれ迄に準備してそれを待つてゐることになる私は現政府が近く金解禁を斷行するか否かは別として兎に角一年なり一年半後には實行することと思ふが吾々の希望は金解禁は單に大藏省令でやるのだから何時やられるか判然しないのが一番吾々に不安を與へてゐると思ふから一日も速かに判然せしめて我財界を指導すべきである

民政黨内閣は兎に角金解禁を斷行することは明瞭なのであるがそれには昨今左の三種の説が行はれてゐる

- 一 一六個月後か一年後には思ひ切つて實行すべきである
 - 一 現在の財界は疲弊してゐるから三年か五年後に實行すべきである
 - 一 爲替相場が茲迄下落しては舊に戻すことは困難であるから下つた儘で即ち平價切下げを行つて實行すべきである
- 即ち右の如きものであるが私の考へでは政府は右の三説の中何れが最良であるかを一般國民に問ふたが一番善いと思ふとして國民多數の意嚮に依つて方針を決定すべきである次に望むことは現内閣は不言實行の内閣であつて無用の宣傳は絶対に避けて貰ひたいことである吾々は金解禁後の影響としてはストツク品に對する打撃のあること等を考へ夫々之に準備をしてゐるのだから濱口首相も井上藏相も一億五千萬圓の國際收支上の借があるからなどと餘り國民經濟の實體に觸れぬ點を宣傳して脅威を與へるやうな態度を取らずに我財界を指導して欲しいものである

緊縮政策に賛成

日本鋼管副社長 白石元治郎

濱口内閣の緊縮政策は至極結構なことで私共も賛成である。而して其緊縮によつて得た剩餘金を如何に處分するか新聞紙の傳ふる處では、公債の償還に振向けるとのことであるが、これも一理ある然し私としての希望は、これを全部減税に振向けるか又は生産的事業の助長に使用されたい。目下我國の急務は無益なる消費の節約と産業の振興を圖るの二つによつて國際貸借のバランスの平衡を得ることが必要である。我國の身代からして六十億の公債は少額なるものではないが、今直に償還の催促を受けてゐる譯ではないのだから、より有効な他の方面に使用して効果を挙げた方が得策だと思ふ。尙緊縮の宣傳を大いになされてゐるが、勿論緊縮可なりである。

然れ共昨今の我財界方面を觀るに各方面共萎縮して憂ふべき事態にあるから、政府の緊張した心持で大いに勤勉努力、此時勢に當り國民をして一層萎縮せしめないやう、特に注意されたいと思ふ。又緊張すると言つても政府事業及び公共團體の事業でも、無益なもの、又はより少額の金額で目的を達し得られるものは、研究の上少額資金で實行するやうに努むべきで、徒らに中止繰延べを行ふが如きは、却て産業の發達を阻害し、一面には失業者の續出する恐れがあるから、此點は政府でも充分なる考慮を拂はれたい。

以上は濱口内閣の緊縮策に對する一般的希望であるが、更に個々に關して希望を述べて見たい。先づ第一に教育制度の改善である。現今の教育制度は時勢に不適當なものであることは一般の認むる處である。これを適當に改正してより短き期間とより少き經費で以て其目的を達するやうにしたいものである。或は斯く言ふは無理かも知れないが、今日の教育制度は確に右述の如くなし得る餘地が充分あると、其道の人でも同感者が多い。教育制度の改正を編目に亘り、一々舉示することは略するが、これを行ふには從來の所謂教育者のみでは期待出来ないが、有識なる經驗家學者等を加へて教育審議會の様なるものを組織して充分研究されたなら、何等かの方法を案出するであらう。

次に農業經營の改善であるが、近來農業の不振な結果爭議が各地にあるやうだが、これは要するに農民の収入が之に伴はないのが主たる原因である。故に農村の収入を増加するやう指導すべきである。今全國各地には改善された模範農村がある。然るに其事實が一般に知れ渡つてゐない爲、眞面目な改善者に據るべき手本がないので困るやうに見受けられる。私は愛知縣下の模範農村を調査し、これを印刷に付し、知己朋友に配布したが、其結果これを郷里に行はしめるとか、又自ら實行したいと言ふ多數の共鳴者を得て、實は其効果に驚いたのである。斯くの如く世間に知られない農事經營方法があるのだから、政府當局も之等のことを一般に周知させるやう、指導し又努力されたい。

更に我國の水産業は世界で第一位を占め、約百五六十萬人が斯業に携はつてゐる。年收も約五六億圓と記憶してゐる。而して其利用の説備方法は未だ進歩した。近代の機關によつて行はれてゐない。若此方面に充分なる力を注ぎ改善されたなら、今後數年ならずして二百萬人以上の従事者を得、七八億圓の収入を擧げることにはさして難事ではないと老へる。勿論此の事業の今日あるは官民多年努力の結果であるが、尙將來より以上發達の餘地があるやうに思ふ。且最も有意義な事業であるから、此點に注意されたい。

最後に社會政策に關しての希望であるが、民政黨は多年黨是として社會政策を標榜して來たが、社會の進歩の爲め理論としては誠に結構なことである。只其宜しきを得なければ、却て現代社會を擾亂することとなり、目的と反することが多い。歐米諸國に於いても、勞資關係については適當な解決の手本たるべきものがない。且各國民情を異にしてゐる。然るに近來我社會局の採り來つた制度は外國の模倣に止まり、我國情と適しない制度が多くて、其結果は良好と言ふを得ないものがある。況んや、今日短時間に産業振興を圖らんとする場合に當つては、勞資關係の爭議を避けて實効を擧げるやう注意すべきである。此際試験的の新制度を俄に實施せんとするが如きは、却て紛議を起すのみである。故に此點は餘程慎重な態度を執つて貰ひたい。

東京市芝区櫻田銀治町十番地

昭和四年十一月十六日發行

昭和四年十一月十二日印刷
昭和四年十一月十六日發行

東京市芝区櫻田銀治町十番地

發行所 濱口内閣編纂所

電話銀座五六四〇番

終